

# 予算決算審査委員会報告書

令和7年3月17日

備前市議会議長 西上 徳一 殿

委員長 山 本 成

令和7年3月17日に委員会を開催し、次のとおり議決したので議事録を添えて報告する。

## 記

案 件	審査結果	少数意見
議案第2号 令和7年度備前市一般会計予算（文教）	継続審査	—
議案第17号 令和6年度備前市一般会計補正予算（第11号）（文教）	継続審査	—



## 予算決算審査委員会記録

招集日時	令和7年3月17日（月）	午前9時30分		
開議・閉議	午前9時30分	開会 ～	午後5時43分	閉会
場所・形態	委員会室	会期中（第1回定例会）の開催		
出席委員	委員長	山本 成	副委員長	奥道光人
	委員	中西裕康		尾川直行
		守井秀龍		立川 茂
		石原和人		森本洋子
		青山孝樹		藪内 靖
		松本 仁		内田敏憲
		丸山昭則		草加忠弘
欠席委員		土器 豊		
遅参委員		なし		
早退委員		なし		
列席者等	議長	西上徳一		
説明員	総合教育部長	畑下昌代	教育総務課長	杉田和也
	小中一貫教育課長	谷口健一	幼児教育課長	文田栄美
	市長公室長	濱山一泰	市長公室参与	梶藤 勲
	市長公室参与	石原史章	交通政策課長	出射詩都
傍聴者	報道関係	あり		
	一般傍聴	あり		
審査記録	次のとおり			

午前 9時30分 開会

○山本委員長 皆さん、おはようございます。

ただいまの御出席は14名です。定足数に達しておりますので、これより予算決算審査委員会を開会いたします。

本日は、総合教育部関係の審査としております。

本日も、議案第2号令和7年度備前市一般会計予算、議案第17号令和6年度備前市一般会計補正予算（第11号）の2議案の審査を行います。

議事の運営に格別の御協力をいただきますようよろしくお願いいたします。

いずれも補正予算の審査を先に行います。

なお、議案第2号については、所管の記載がされた予算書を事務局に配付させております。審査漏れがないよう、1ページから20ページなど、ページを区切って審査してまいります。区切った範囲内に審査中の所管の予算が存在しない場合も多々あるとは存じますが、審査漏れを防ぐためですので、御理解、御協力をよろしくお願いいたします。

また、本日も席次表を配付させておりますので、現在審査中の部課については席次表を参考にしてください。

皆さんにお諮りいたします。

先日、市長公室関係の予算審査を行ったところですが、観光船待合所等整備事業及び観光船栈橋整備工事に関する予算における答弁の補足をさせていただきたい旨、執行部より申入れがありました。

本日の文教関係審査後、当該予算の審査を再度行うこととしてよろしいでしょうか。

〔賛成者挙手〕

賛成多数のため、執行部の申入れを許可し、本日の文教関係審査後、観光船待合所等整備事業、観光船栈橋整備工事に関する予算の審査を改めて行うこととします。

それでは、議事に入ります。

\*\*\*\*\* 議案第17号の審査（文教） \*\*\*\*\*

まず、議案第17号中、総合教育部関係の審査を行います。

まず、歳入から行います。

補正予算書は20ページ、所管別分類表は7ページをお開きください。審査の範囲は20ページから31ページ、一括で審査をさせていただきます。

○中西委員 22ページの保育幼稚園費負担金、子供のための教育・保育給付交付金204万1,000円、これはどういった事業に充当されるのでしょうか。

○文田幼児教育課長 こちらの子供のための教育・保育給付交付金なんですけれども、こちらは私立の保育園の運営費の補助金となっております。国の公定価格の改定に伴う増額となっております。

○守井委員 27節県支出金のうち、教育費県補助金のうち、学校管理費補助金で、アシスタント配置事業補助金ですが、当初が224万円ぐらいだったのが倍以上なんですけど、増えているが、これはどういうことになったんでしょうか。

○谷口小中一貫教育課長 こちらにつきましては、県のほうの配置基準が拡大されまして、それによって補助金の増額となっております。

○石原委員 24、25ページの教育費国庫補助金のへき地児童・生徒援助費等補助金、こちら減額になっておりますけれども、どういった事業でどういう状況でというところをお聞かせいただければと思います。

○杉田教育総務課長 こちらにつきましては、スクールバスの購入費の補助金となります。スクールバスの購入費の歳出のほうは、12月議会の8号補正のほうで繰越しのほうをしております。それに伴いまして、国庫補助金のほうも交付決定額を除き減額させていただくものです。

○山本委員長 よろしいですか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

次に、歳出に入ります。

補正予算書は44ページ、所管別分類表は11ページをお開きください。審査の範囲は44ページ、45ページの民生費を審査いたします。

○守井委員 児童福祉総務費の扶助費、小規模保育事業所給付費が元よりも大分増額になっているが、その理由は何でしょうか。

○文田幼児教育課長 こちらは小規模保育事業所の給付費、扶助費です。318万3,000円の増額となっております。こちらは先ほどの歳入のほうにもありました国の公定価格の改定に伴う増額となっております。

○山本委員長 ほかに質疑ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

補正予算書56ページ、教育費、最後の63ページまでを審査いたします。63ページの諸支出金まで審査いたします。

○尾川委員 事務局費の報酬で、会計年度職員報酬でかなり減額になっているが、減額理由を教えてください。

○文田幼児教育課長 こちらにつきましては、職員給与費とこども園の通園バスの運転員の人件費となっております。大きいところでは、主にALTの分でして、こども園に10名の配置を予定して予算計上しておりましたが、2名分しか配置ができておりませんので、そちらに関する減額が主なものとなっております。

○尾川委員 採用できなかったと聞こえたのですが、何かそれによる障害、課題、問題点はどうか改善されたんですか。

○文田幼児教育課長 2名の採用には至っておりますので、その2名のALTが10園を5園ず

つ担当して、分担して、配置しているような状況でございます。

○中西委員 56ページの報償費のところ、講師謝礼が1,719万2,000円減額になっているが、この理由についてお聞かせいただけますか。

○畑下総合教育部長 こちらにつきましては、放課後子ども教室の講師謝礼を見込んで入れておりましたが、実質開いたところが少なかったということで、減額させていただいております。

○青山委員 大学生を派遣するというように当初言われたと思うのですが、大学生の派遣がなかったというふうに見ればいいですか。

○畑下総合教育部長 そういうことも見通して上げておりましたが、今年度につきましては、大学生等の派遣等は行っておりません。

○中西委員 講師謝礼ですけど、もともと何人を予定していて、何人が来なかったのでしょうか。例えば50人予定していたけども、35人来たとか。

○畑下総合教育部長 ちょっと数字的なものはあれですけど、当初見込んでいた人数、全員依頼はできていないので、全く依頼はできてない状態です。

○中西委員 放課後児童クラブの歳入のところでの減額は分かるのですが、講師の派遣をするということをしていただけですから、それを全部取りやめるといのはどういうことでしょうか。当初人数よりも少なかったというのは分かるけども、全部講師取りやめるといのは、新たな事業をやるということで教育委員会は予算を組んでいた、それを全部やめたといのはどういうことでしょうか。

○畑下総合教育部長 こちらは放課後子ども教室のほうで、児童クラブではないです。放課後子ども教室を全小学校区で開く予定でしたが、今現在2つ開けているのですが、そちらのほうに大学生とかの講師も、全部開くとそういう方がいるかなと思って予算を上げておいたのですが、今のところ2つしか上がっていないので、そういう講師依頼をしてないということで、上げていた予算は使っていないという状態です。

○中西委員 教室は開かれたのですか。

○畑下総合教育部長 東鶴山地区とそれから三石地区は行っております。

○中西委員 その大学生は一人も呼ばなかったといのは、呼ぶ予定にしていたにもかかわらず、呼ばなかったといのは、どういう理由があるのでしょうか。

○畑下総合教育部長 そちらにつきましては、今2地区のみでやっておりまして、今おります会計年度職員が1人おりますので、そちらで対応できているということで、今年については依頼をかけておりません。

○中西委員 じゃあ、その放課後児童教室に大学生を呼んで、講師としてやってもらうという事業についての教育委員会の総括はどうなのでしょう。

○畑下総合教育部長 今後についても、教室は増やしていきたいと思っておりますので、来年度につきましても計上させておりますか、続けて教室を増やして行って、依頼のほうもかけていき

たいと思っております。

**○藪内委員** 57ページの事務局費、1節報酬、ALTの報酬減ということですが、10人の予定が2名になったと。それで、当初の目的は達成できたのか。2名でよかったのじゃないか。

**○文田幼児教育課長** 2名のALTの方、すごく頑張ってくださいしております。事業も会計年度ですので、毎月報告もいただいておりますし、当初計画を立てて、そのとおりにできるように頑張ってくださいしております。ただ、10か所、市内あちこち回っていただくようになっているので、そういった部分では、少しやりにくいところや、足りない部分があるのではないかなというふうに思っておりますが、大きな問題とかは今のところ発生はしておりません。

**○藪内委員** 基本的にやりたいことはできた、そうであるならば、ほかにも影響すると思いますが、この人数、いろんなところの、ALTに関する。これもう一回考え直してもいいのじゃないか。10名の予定が2名だったから、全然できなかった、足りないというのであれば、10名が正しいのか、5名が正しいのかは分かりませんが、2名で何とかやれたのであれば、すごいその人たちが頑張ってくれた。一定以上頑張ってくれた。でも、その頑張りがやっぱり必要なことであって、2名でいけるのであれば、2名でいいし、例えば80人なくても、8人か10人でやれるかも分かんないし、そういう面でどうでしょうか。

**○文田幼児教育課長** 令和5年度には、10名のALTがこども園にも1園ずつおられました。それがいきなり2名になりましたので、保護者のほうからも、不安の声といいますか、そういったようなことは多少あります。ただ、こども園ですので、英語の勉強をするというよりは、生活の中で英語に触れるといったようなところを目的としているので、10人から2人という、ちょっと大きく減ってしまったところは残念だったかなというふうには思っています。

ただ、10人が5人、5人が10人で、大きく変わるのかというと、こども園としては、大きく影響的なところはないかなと思っているのですけれども、各園にいたら、英語に触れる機会も増えてくるのかなというふうには思っています。

**○藪内委員** こども園こそが私は大事じゃないかと思っているので、入試とかに関係ある上の学年ほどはあまり、こども園こそが、教育じゃないけど、英語に触れるということで大事だと思う、その辺、もう一回よく教育委員会でもよかったのですね。教育委員会であるとか、後ろにおられますけれど、その保護者の方々ですね、もっと基本の基本のところから、よく話し合っ、人数的なこともいろいろ考えて、数ばかりが先行して、本来の目的、その本来の目的自体も、もう一回よく考えていただかないと駄目だと思う。よろしくをお願いします。

**○文田幼児教育課長** 委員おっしゃるとおりで、数の問題ではなく、質の問題でもあると思います。ALTの採用に関しては、そういった質の部分も大切にしていっていいかなというふうに思います。

**○石原委員** 同じで、ここで先ほど来、こども園に関しての補正での減額になっておりますけれども、当初はたしかALT、25名配置の予定が、たしかそのこども園のお二方を含めて13名の

説明でしたので、小・中学校で11名なのかな。小・中学校で15名分見込んでいたと思うけども、そちらの減額は、この補正予算では反映はされているのか。

○谷口小中一貫教育課長 このたびの補正予算には入っておりません。随時、来られたら募集、募集は上がっているの、いい方がおられたら採用に向けて動きたいなというところで今日まで至っております。

○石原委員 ここでの補正ではない。先ほど中西委員が取り上げられた放課後子ども教室2か所で今年度は運営がなされてきたと、当初予算と見比べますと、400万円余りは、そういったところでの講師の謝礼として執行されたのかなと思っていたのですが、2か所、こういった方が講師として赴かれたのでしょうか。

○畑下総合教育部長 こちらの放課後子ども教室の課のほうで会計年度職員が1人おりますので、そちらの方を1人、その方にその2か所へ行っていただいております。

○石原委員 こちらの講師謝礼の400万円余り、これ捉え違いだったら御指摘いただければと思うんですが、400万円余りをそちらの会計年度任用職員さんの報酬、謝礼としてお支払いをされるということでしょうか。

○畑下総合教育部長 いえ、講師謝礼は使っていないと思います。会計年度職員は会計年度職員の報酬がございますので。

○石原委員 400万円、1,761万円が当初予算だったかな、講師謝礼は。

○畑下総合教育部長 研修を行うための講師謝礼も計上していたので、そちらの分だと思えますが、そちらについても使用はしてないと思います。

○石原委員 400万円余りは、違う分野の研修の講師謝礼として42万円ですか。されたということで、ほかの分野の研修の講師の四十数万円はどういった研究の講師の先生にお支払いされたのですか。

○畑下総合教育部長 すいません、ちょっと今手持ちの資料がないので、後ほど回答させていただきます。

○石原委員 その下の旅費、費用弁償、こちらも補正予算までは終えていませんけれども、当初段階で3,803万7,000円、こちらで1,200万円減額となっておりますが、この要因、状況、お聞かせいただければ。

○谷口小中一貫教育課長 会計年度任用職員の方の通勤旅費が主なものになっております。採用時点では、どういう方が採用なるかというのが分かりませんので、最大の枠で取らせていただいて、実績見込みで落とさせていただいておるといようなところになっております。

○石原委員 58、59ページの負担金補助及び交付金の研修会等参加負担金、こちらも補正予算までは終えておりませんが、当初段階では2,358万4,000円、こちらが1,649万円減額となっておりますが、この要因、状況についてお聞かせいただければと思います。

○文田幼児教育課長 こちらの教育研修諸費の負担金補助及び交付金の150万円の減額につき

ましては、幼児教育課のほうのALTの研修の負担金としておりました。ただ、こちらのほうは小学校、中学校と一緒に研修を行ったので、150万円の減額とさせていただきます。

○石原委員 一番上のも併せて。

○畑下総合教育部長 この負担金の1,649万円の減額につきましては、IB教育のワークショップの研修の負担金の減額でございます。

○石原委員 1,600万円余りの減額ですから、約700万円はIB教育に係るワークショップは開催をされたということでしょうか。

○畑下総合教育部長 先生方に参加をしていただいた分ですが、なかなか全ての先生方に参加、都合がつかれる先生方とかになりますので、全員が全員というわけではありませんでしたので、こういう結果になっております。

○石原委員 そのワークショップなる会合は何回ほど開催をされたのでしょうか。

○畑下総合教育部長 期間でございますが、小学校で5回、中学校で7回になっております。

○石原委員 大きく約3分の2、これはほかの研修会も含まれとんかも分かんのですけれども、見込みよりはそういった先生の参加が少なかったということの御説明ございましたけれども、そのことでIB教育推進への影響等、大丈夫だったのでしょうか。

○畑下総合教育部長 8割ぐらいの方が参加してくださっているので、進めていけると思っております。

○石原委員 これは意見ですけれども、当初予算の編成時点での積算根拠、そこもちょっとどうなのかな、今の御答弁をお聞きして感じたところです。

○中西委員 石原委員が言われた当初で2,358万4,000円、1,649万円が減額と、8割の先生方が参加されたとなると、この差額はどういうふうに考えたらいいのでしょうか。もとの事業は700万円ぐらいでできたのでは。

○畑下総合教育部長 こちらにつきましては、一応全員の先生方の参加を見込んでやっておりましたので、この減額した分が残りの2割というわけではございませんので。また、ちょっと研修先ってというのが、よそに行つてやる場合があったりしたのですが、結構こちらの市内のほうで開催してできましたので、ちょっと負担金等も少なくなっております。

○中西委員 そもその予算組みがどうだったのかという石原委員の指摘がやっぱり当たっているのじゃないか。今年度も同じような予算編成をしているのか、それはまた予算のときにお伺いをしたいと思います。

あわせて、ここでは研修会参加負担金というのは、ほかの負担もあったと思うのですが、どのような執行状況になっていますか。IBに関わる研修会の負担金が幾ら、それからあとDXがありました、ここは20万3,000円という。

○畑下総合教育部長 すいません、ちょっとその数字につきましても、手元に資料ございませんので、後ほど示させていただきます。

○青山委員 61ページの保健体育費、学校給食費ですけど、こちらも1,000万円の減額ということになっているのですが、当初は7,632万2,000円ですか、これは何人分でという内容でしょうか。

○杉田教育総務課長 こちらにつきましては、調理員が38人、事務補助員が4人、運転員が5人の予算となつとります。

○青山委員 この人数が必要なかったということですか。

○杉田教育総務課長 必要なかったというわけではなくて、例えば調理員につきましては、募集に対して応募がなかなかなくて、その分の人件費のほうがちよつと余ってしまったというようなところもございます。そういった意味で減額となつとります。

○青山委員 これ現場のほうはどういう対応をされたのでしょうか。

○杉田教育総務課長 例えばシルバー人材センターの方に来ていただくとか、そういったことも対応はしております。

○青山委員 これだけの応募がなくて不足しているということ、今年度はどのように考えていますか。

○杉田教育総務課長 現時点では、応募のほうがございまして、充足しているという状況でございます。

○青山委員 後々に充足したということですか。

○杉田教育総務課長 はい。

○青山委員 それはいつ頃。

○杉田教育総務課長 時期のほうははっきり覚えてない。たしか12月とか、それぐらいだったと思います。

○青山委員 もう一遍確認ですけど、その方は令和7年度も引き続きやっていただけるような状況になっているんですか。

○杉田教育総務課長 現時点で引き続きやっていただけるものと思つとります。

○中西委員 同じところですけど、去年食洗機が壊れましたよね。人海戦術で、食器を洗う、それから紙の皿を使うとか、いろいろ御苦労されたときですけど、そのところが一番人手が足らなかったということですか。

○杉田教育総務課長 お見込みのとおり、先ほどのシルバー人材センター方は、その食洗機の対応での採用した方になります。

○中西委員 現場の方が大変困ったところだったろうと思うのですが、そういうことがないように、この限られた予算で、少ない人数で給食を作らざるを得ないというところなので、この人の確保は必ずしていただきたいということをお願いをしておきたいと思います。

○杉田教育総務課長 御意見ありがとうございます。そういったことがないように努めてまいりたいと思つとります。

○山本委員長 ほかに質疑はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

次に、第3表繰越明許費補正に入ります。補正予算書は7ページ、所管別分類表は1ページをお開きください。

○守井委員 教育費、8ページです。繰越明許で体育館の移動式空調が繰越しになってますが、いつ頃入る予定、中学校も同じく、いつ頃入る予定か教えてください。

○杉田教育総務課長 こちらにつきましては、現在準備のほうを進めておりますが、なかなか今機材のほうは不足しているというふうな御指摘もございまして、時期のほうはなかなか見通しが難しいところでございます。

○守井委員 できるだけ早くお願いするように進めてやってください。

○中西委員 財源については、どういうものを考えているのでしょうか。

○杉田教育総務課長 こちらにつきましては、空調設備整備臨時特例交付金のほうを予定いたしております。

○中西委員 補助は何割ぐらいを。

○杉田教育総務課長 算定割合は2分の1となっております。

○山本委員長 よろしいですか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

最後に、全体で質疑漏れはありませんか。

○石原委員 歳出で、44、45ページの児童福祉費の保育幼稚園費、3つの委託料、補正計上されておりますけども、それぞれ概要等をお聞かせいただければと思います。

○文田幼児教育課長 まず、一番上の通園バスの運行委託料ですけれども、こちらのほうは吉永の通園バスの運行委託料となっております。通常、運転員のほうは交通政策課におります運転員に運転をお願いしていますが、スケジュール等が合わず、配置できないときに、吉永タクシーさんの運転員を委託しているところです。実績が少し多くなったので、ここで補正させていただいております。

それから、広域入所保育園運営費委託料、2口ありますけれども、上の段の分が1号認定のお子さんの分です。それから、下の段の分が2、3号のお子さんの分になっております。ちょっとシステム上の関係で、1号、2号、3号のその表示ができていないので、同じ説明になっておりますけれども、広域入所の保育園の利用の委託料となっております。

○中西委員 56ページの報償費の講師謝礼のところ、もう一回確認をさせていただきたいのですが、この減額している1,719万2,000円というのは、放課後教室の児童教室の大学生の派遣の費用全額というのがこの金額になるわけですね。

○畑下総合教育部長 大学の講師というより、教育支援で、時間で行っていただくのをお願いする方の費用がです。

○中西委員 全額がこの金額なわけですね。

○畑下総合教育部長 三石でやっているところに、1人講師をお願いしているので、その方、先ほど石原委員さんが言われた4万2,000円、講師料が発生しているのじゃないかという話ですけど、そちらがその方の分、1人入っただけで、ほかは全て。そのあたりももう一度調べて報告させていただきます。

○中西委員 私は三石と東鶴は、この教育委員会の中に会計年度任用職員がいて、その人が対応しているというふうにお伺いをしているわけで、だとすればここで報償費全額が減額されたんかなど、また報告をお願いします。これは当初の予算に関わるところで、よろしくお願いします。

○畑下総合教育部長 後ほど調べて報告させていただきます。

○尾川委員 58ページの小学校、中学校の空調機購入で、今やり取りがあったが、この国の補助を受けるときに、今備前市が考えとる性能、設備のレベルが国の要求というか、国はこういう設備を設置しなさいというのと、それから市はこういうふうを考えとるというふうなギャップというか、それと現場がどういうふうを考えているのか、そのあたりの再調整するようになるがどのような予定なんですか。

○杉田教育総務課長 空調機の性能につきましては、現時点で要求している内容については、予算書どおりです。国のほうが求めているのは、体育館につきましては、断熱性能を求められておりまして、それにつきましては、補助要件のほうにも入っているということもございます。そのために、改修工事につきましては、今年度の実施ということでやっていきたいと思っております。国のほうの交付金の要綱のほうでも認められておりますので、そういったこともやっていきたいと考えています。

○尾川委員 設置、整備の方針は変わらんという理解でいいのか。

○杉田教育総務課長 先ほど申し上げた体育館のほうの断熱工事のほうが、ちょっとどれぐらいかかるかというのが、まだこれからとなっておりますので、そちらのほうで変更がまたあるかもしれません。

○尾川委員 一部の学校で、当たる、当たらん、危険なと言うたり、設備が邪魔になるとかという声が、一々聞いたら切りがないけど、いろいろ障害があると思うけど、そのあたりの救済というのを考えとんかなということで、そういう整備の方法というのを、国の整備とそれから備前市の考えとると、現場とのという話をしているが、そのあたりの調整というのは、もう従来の計画どおりで進めるというふうに決定しているのか。

○杉田教育総務課長 邪魔になるという御指摘も確かにございます。そのために今回は移動式という形で整備のほうを進めているというふうに私のほうは思っています。

○青山委員 断熱工事ということを言われたが、当初は移動式の空調機という考えていたが、断熱工事というのはどのような工事をされるのですか。

○杉田教育総務課長 例えば屋根に耐熱塗料を塗るとか、窓に遮熱のフィルムを貼るとか、いろ

いるあるとは思うのですけども、そういったことで考えとります。

○**青山委員** まだこれにというふうな決定はないわけですか。

○**杉田教育総務課長** 現時点ではまだ確定のほうはしておりません。

○**青山委員** 決定したらぜひ委員会のほうなりに出していただこうかと思えます。

○**中西委員** 断熱工事をするというのは、今日初めて伺ったのですけども、これまで断熱工事をするのが大変で、エアコンなどを入れるのが、どっちか言えば渋っていた。つまり今回、繰越明許で上がるこの移動式の大体4,000万円ですが、1億円ちょっと、でも断熱工事といったらこんなもんじゃない。今まで教育委員会は、そんな大きなお金をここに投じるというような話は、私は今回初めて伺ったので、どこでそういう方針が決まったのでしょうか。

○**杉田教育総務課長** 方針といいますか、こちらのほうの空調設備の交付金のほうを受けようとした場合、そういったことが求められているということが分かりましたので、そのように対応させていただこうと思っています。

○**中西委員** そうしないと、この補助金がこれはもらえないなんてことは、それは大本の断熱が幾らかかるんかというのを出した上でないと、出して計画的に考えていかなきゃいけない。これでそういうことは今まで一切委員会には説明がなかったのですから、なぜ今頃になってそんな説明をされるのですか。

○**杉田教育総務課長** 説明がちょっと十分でなかった点はおわびしたいと思います。

○**中西委員** これは大きな経費がかかって、それが市民の負担になるわけですから、私は計画的な取組が必要じゃないかと。早急にどのくらいの費用がかかるんか、だとすれば、移動式じゃなくて、空調で整備していくということもあり得るのでは。教育委員会としての計画を示す必要があるんじゃないかと私は思います。そこはどうお考えになっておられますか。それは部長が答えなあかんと思います。本当は教育長が答えなあかんでしょうけど。

○**畑下総合教育部長** 断熱についてのまた計画については、一旦この補助金につきましては、今後そういう工事もしていく必要があるという条件になっておりますので、またそれにつきましては、今後そういう計画も立てていかないといけないと思っていますところでは。

○**中西委員** ただただ不安がいっぱいなことを申し上げて、私の質疑を終わります。

○**石原委員** こちらの予算、9月定例会の補正予算で、年度途中で提案がございまして、その場合には1億円余りが一般財源で、財源は、御提案で、国のほうの補正予算で新たな補助金、そちらを財源に充当ということの動きのようですねけれども、9月で3月の納品予定で進んでおったものが、その国のほうの財源、補助金へというような動きというか、そのようなことになったのはいつ頃ですか。

○**杉田教育総務課長** 交付金につきましては、交付決定というのを受けておりますので、この辺は大丈夫でございます。

○**石原委員** いつ頃から、動きというか流れ、一般財源で見込んでおったけれど、あつ国の新た

な交付金2分の1のが出ますよというのは。

○杉田教育総務課長 時期については、ちょっと申し訳ありません、はっきり覚えてはないのですが、たしか12月に入ってからだったと思います。

○藪内委員 先ほど中西委員が質問された、交付金を目指してですね、交付金補助を目指しているいろいろ考えが変わったりするのですが、この交付金によって50%の補助があると、約5,000万円、しかしそのためにはそれに付随する工事が発生する。それが本当に幾らであって、そういうことを計算しないと、補助をもらうことがいいのかどうか、そういうことは、やっぱりよく試算されないといけないと思うのですが、どうでしょうか。

○杉田教育総務課長 御指摘のとおりかと思えます。地方財政措置というものが実はございまして、こちらについては元利償還金への交付税措置が50%ということになっていますので、実質的な地方負担のほうは25%というふうになる予定になっています。

○藪内委員 計算がよく分からなかったのですが、でも実際その断熱工事に幾らがかかるかが分からないと、それが5,000万円だろうが2,500万円だろうが、それを補助していただくために何億円も、例えば工事にかかるのであったら、それは補助していただかないほうがいいと思う。それはどんなでしょうか。

○杉田教育総務課長 なるべく安価な方法での断熱工事ということで目指してまいりたいと思っております。

○藪内委員 なるべくではなく、安価な方法でよろしく願いいたします。

○尾川委員 関連して、安価、安価と言うけど、もともと体育館の冷房というか、暖房というか、そういう断熱という問題があると思っていた。スポットクーラーみたいに、目の前にノズルが出てきて、そこの部分だけなら何とかなる。だけど、体育館全体をエアコン効かすのか、その辺の考え方じゃと思う。国がするという事は、そういう構想の下でやれということと思う。体育館にエアコンをつけるということについて、スポットでいくんか、それとも全体でいくんか。全体でいくのなら、そういう断熱効果が上がるような改善をするということが前提になっていると思うから、それはやらないと。効かんとは思った。あんな大きな建物、スポットクーラーでやったって、本当に排気ガスを外に出すようになっていた、図面というか、カタログでは。だけど、そういうのは効果が上がらんから、そういうふうになってきている。ただ、一番聞きたいのは、備前市として、先行してよかろうと思うとって、やろうという、避難所を兼ねて。ただ、それが国が後追いで来て、補助を出すということで、そのあたりの考え方、要するにもっとタイミングを待って、国の動きを待ってやっていくほうが、要らない労力なのかなと思うて、そのあたりは担当者として答えられないかもしれないが、ちょっとその辺を、微妙なところを教えてもらえたらと思います。

○杉田教育総務課長 御指摘のとおり、せつかくですからなるべく市費のほうを抑えて、国の補助を使ってやっていきたいというのは、皆さん同じ考えかと思えます。こちらほうでも、こうい

った制度を十分に活用して、こういった事業のほうを進めていきたいと思っています。

○**青山委員** 現場のことを聞きたいのですが、こういったような工事をするととなると、体育館の使用に制限がかかるんじゃないかなと思いますけど、例えば通常の何か授業をやっているような期間なのか、それとも夏休みとか冬休みを使ってというような形になるのか、その辺はどのようにお考えなのですか。

○**杉田教育総務課長** 一番大きな工事は、やはり電源の関係の工事になるかと思います。それと、当然授業に差し支えがないようにしたいというのは考えておりますが、長期休業期間中にできればと思っておりますが、現在の機材不足の状況からすると、夏休み中はちょっと難しいかなと正直思っております。そうした場合、その授業の合間、授業の様子を見て学校のほうとも協議させてもらいながら進めてまいりたいと思っています。

○**青山委員** もととの計画では、卒業式に間に合うようにということだったと思うんですけど、先日も中学校の卒業式、結構寒いなという声も聞きました。

これから暑くなる夏に向けての使用というようなことも考えておられたので、それが夏休みに工事となると、それまでの期間、暑い思いをするのか、いろいろ現場工夫してやられるのでしょうか、ぜひ現場の学校とも、その辺のところをよくよく相談していただいて、支障のないようにということと、早めに設置ができるようにということをお願いしたいと思います。

○**中西委員** 私のほうは話をやめようと思ったのですが、今までの話を聞くと、恐ろしい話で、私自身は今、小・中、一般教室は冷暖房が入っていますし、あと特別教室が少し入っていないと、あと体育館については、ぜひ避難所の問題も含めて冷暖房を入れてくれということで私も一般質問をしたところ、それはしないという今までの見解だったのが、突然このスポットクーラーの思いつきの話から入ってきて、断熱工事もやります。だったら、断熱工事やるなら、スポットクーラーじゃなくて本格的な空調も含めて、私は考えてみるべきじゃないかと、スポットクーラーなんて、ある意味ではそんなに私は大きな効果があるものだというふうには思えないもの。しかし、断熱工事をやるというなら、空調も含めて全体計画がどうなのかと、補助金、あるいは補助金を使わないほうがいいのかどうなのかも含めた教育委員会のきちっとした、思いつきでない計画を出してきてほしいというふうに私は思います。

○**山本委員長** よろしいですか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

ないようですので、以上で議案第17号中、総合教育部関係の審査を終わります。

暫時休憩いたします。

午前10時32分 休憩

午前10時50分 再開

○**山本委員長** 休憩前に引き続き委員会を再開いたします。

次に、議案第2号中、総合教育部関係の審査を行います。

**○畑下総合教育部長** 先ほど委員さんからの質問についてお答えしてもよろしいでしょうか、石原委員さんの分の放課後子ども教室で、実際41万8,000円ほど残っているのですが、これについては何に使われているのかという問題だったと思うのですが、先ほど中西委員さんからも御指摘のあった学習支援員が大学院生とか使う分の、こちら学習支援員として、当初6年度予算で単価1,500円の3時間で、3人3回で42週、10か所ということで1,071万円計上させていただいたのですが、先ほど会計年度任用職員で対応しておりましたと言っておりましたが、三石に学習支援員さんが1人、今おられまして、その方に行っているのですが、その方が今実質2万4,000円、時給1,500円で行っていただいた分だけ支払いが済んでいるのですが、その方にまた支払う分の残りとして、ちょっと多いですが、これだけの予算を残しているという状態でございます。

あと、中西委員さんのIB教育の負担金についてなんですけど、こちらのワークショップが何種類かございまして、コーディネーターのワークショップとか、それから教科別のワークショップ、それから職員のワークショップ、それぞれありまして、その中で職員のワークショップにつきましては8割方、参加をいただいたのですが、ちょっと最初の当初の予算の分については、学校の職員だけでよかったのが、用務員も職員も含めた人数で予算を上げていたので、ちょっと多めに予算がこちらのほうが上がっていたようになっていきますので、参加していただく職員の8割、その分の8割は参加していただいたという答弁になります。

そういった中で、そういうちょっと当初の予算の計上が大きかった分もあるということで、ちょっと残が大変残っているような状態なっていますが、実際に今のところそのワークショップで使った金額は688万円になっております。

あともう一つのほうは、バカロレアの会費のことを言われたのですかね、負担金、ではない。

**○中西委員** バカロレアとDXが20万3,000円あったと思います。

**○畑下総合教育部長** はい。DXは今年度ないとは思いますが、こちらはバカロレアのみだと思っております。IBだけです。

**○山本委員長** 本日も、所管が記載された予算書を基に進行してまいりますので、御準備ください。

まず、歳入から行います。

審査の範囲は14ページから59ページまで一括で審査いたします。

**○守井委員** 27ページ、教育使用料、9目の教育使用料で、高等学校使用料です。高等学校授業料が74万4,000円、それから令和7年度は76万8,000円ですが、国では何か小・中・高まで授業料の無料化してみたいなことを言っているのですが、これは片上高校の授業料ですが、これは無料化にしようとかという方向性はあってもいいのじゃないかと思うけど、どんなんでしょうか。

**○杉田教育総務課長** こちらの予算につきましては、御指摘のとおり片上高校の授業料64人分

になります。現時点ではこういった形で予算のほうを上げさせてもらいたいと思っています。

○守井委員　そういう片上高校の働きながら授業されて、いろんな事情で夜間に授業を受ける方なので、授業料なんかも免除してあげればいい時代になるんじゃないかということが考えられるけど、そういう方向性は全然ないと思うけど、その方向性はどんなですか、今のところないですか。

○畑下総合教育部長　国のほうでもいろいろ言われておりますが、今後また、こちらにつきましても、今のところちょっと話はまだ出ておりませんが、話を、検討する部分があるのじゃないかと思っております。

○中西委員　30ページの国庫負担金の保育園幼稚園費負担金、子供のための教育保険給付交付金、先ほどの補正予算の中で対象が拡大したというふうな御説明を受けたのですが、そして補正がなされているけど、この当初予算を見る限り、昨年度の予算とほとんど変わらないものですが、それはそれでよろしいのでしょうか。県の支出金のところを見ても、あまり大して金額の変化はないのですが。

○文田幼児教育課長　予算のほうにつきまして、実績に基づいて算出しておりますので、それと同時に少し申込み状況のほうが減ってきている傾向がありますので、予算的にはこれで大丈夫じゃないかなというふうに思っております。

○中西委員　国や県の基準というのは、少し拡大されているけども、申込みの数等々含めてやると、このくらいの金額になるということになるわけですか。

○文田幼児教育課長　もちろん、国の基準に基づいて補助金のほうは算定しておりますので、利用の数など、そういったところで変更はあると思います。

○中西委員　55ページの総務費雑入のところで、研修助成金というのがあるのですが、幼児が20万円あるのですが、これは何でしょうか。

○文田幼児教育課長　研修助成金20万円ですけれども、これは市町村振興センターのほうから補助金を受けまして、保育教諭の研修を行っているものでございます。

○中西委員　市町村振興センターから来るのですが、もともとはどこからこの研修費が来るんですか。

○文田幼児教育課長　こちらのほうは総務課のほうに市町村振興センターのほうから、一般の職員の研修と同じように補助をいただくものというふうに聞いております。

○中西委員　私が知りたいのは、市町村振興センターにはどこからお金があるのでしょうか。

○文田幼児教育課長　申し訳ありません。ちょっと手元に資料がございません。

○守井委員　国庫支出金の32ページ、33ページ、教育費国庫補助金の中で、教育支援体制整備事業費補助金、同じように教育支援体制整備事業交付金というのがあるのですが、補助金と交付金の違いは、どういう違いがあるのでしょうか。33ページの事務局費の補助金のところですか。教育支援体制整備事業費です。

○**文田幼児教育課長** まず、教育支援体制整備事業費交付金のほうですけれども、こちらのほうは幼児教育の質の向上のための研修支援ということで、文科省の交付金となっております。こども園のほうで小学校との接続ということで、そういったものの補助となっております。

○**守井委員** 補助金は。

○**谷口小中一貫教育課長** こちらにつきましては、小学校以降の切れ目のない支援体制整備充実事業という国の事業の補助となっております。

○**立川委員** その続きで、34、35で、国庫支出金、国庫補助金のうち、6節の学校管理費補助金8,081万1,000円ついていますが、公立学校情報機器整備費補助金、それからGIGAスクール構想支援体制整備事業費補助金、これについて内容等々ちょっとお聞かせいただけますか。

○**杉田教育総務課長** まず、公立学校情報機器の補助金ですけども、こちらのほうは児童・生徒用の端末の購入費に対する補助になります。まず、児童用端末のほうが単価5万5,000円、対象者は1,187人、それに15%の予備機のほうを認められておりますので、合計が1,365台になります。それに対する補助率が3分の2、結果、5,005万1,000円になります。

続いて、中学校の生徒用端末のほうですが、単価は同じ5万5,000円で、対象者は636人、15%の予備機を含めまして731台、補助率は3分の2で、結果2,681万8,000円となります。

GIGAスクール構想のほうですけども、こちらはネットワークの構成変更費用になりまして、ローカルブレイクアウト、それから通信環境の改善のための改修になります。これによりまして、ネットワーク速度の改善と各学校への引込線の改修をする附帯工事費を見込んでおります。費用のほうが788万4,250円のこれが1校当たりになります。これが15校でその3分の1としまして、394万2,000円を見込んでおります。

○**立川委員** 最初のほうの情報機器のほうは、端末というのはタブレットという解釈でよろしいですか。それだけですか。

○**杉田教育総務課長** タブレットで間違いありません。

○**立川委員** 3分の2補助ということで、あと3分の1はどういう形かで財源を引っ張ってこないかと思っておりますので、これは歳出のほうでお尋ねしますが、この補助金について何か条件的なものはあるのですか。例えば現在使っているタブレットをどうするとか、当然今使っている端末もあるわけですから、その辺の条件といたらおかしいですけど、何かそういったものがあるのでしょうか。それと、そういったものはどういうふう処理をされるのでしょうか。

○**杉田教育総務課長** タブレットにつきましては、単価5万5,000円が上限ということが決められております。あと、機種を選定につきましては、県のほうで共同調達ということで考えておりますので、そういったことでの縛りはあるかと思っております。

○立川委員 そういった縛りはあるということなのですが、現在使つとる端末の処分はどうされるのでしょうか。

○杉田教育総務課長 すいません、ちょっと今手元にその資料がないので、後ほどお答えさせていただきます。

○立川委員 今も1人1台ずつ使っておられると思いますので、8,000台ぐらいの端末が、年式が古くなるので、どうなるのかなと。また、お聞かせいただきたいと思います。

その下のGIGAスクール、ネットワークの速度アップということで、これは3分の1しか補助金が来ないよ。じゃあ、3分の2はどこから引っ張ってくるのかなという思いもありますので、これは歳出でお答えいただいたらと思います。終わります。

○青山委員 41ページです。教育費の県補助金の1節学校管理費補助金、部活動指導員の配置促進事業補助金190万8,000円というふうにありますけど、これ部活動地域移行との関連というか、そういうものはあるのですか。

○谷口小中一貫教育課長 当課において予算計上させていただいているものにつきましては、基本的な授業日のイメージの指導員の方になります。人材は地域移行課とも共有させていただきながら進めておるといったところになります。

○青山委員 じゃあ、通常授業日の部活動の支援員ということですけど、これ何人で、どこに、どういう種目、どこに配置されていますか。

○谷口小中一貫教育課長 来年度、今7名の配置を進めたいなと思っております。種目につきましては、吹奏楽、それからバスケットボール、アーチェリー、剣道、ソフトテニスといったあたりを考えております。

○青山委員 これはまだ学校からの要望といいますか、もちろんこの種目がある学校ということになるのでしょうか、そういったような学校からの要望で、こういう種目を配置するというふうになっとんのですか。

○谷口小中一貫教育課長 学校からの要望を受けて、また人材の当てがあるところないところはございますが、予算のほうでこのような計上をさせていただきたいと思っております。

○青山委員 その際に、この種目を見ますと、部活の地域移行とほぼ重なっているというように思うのですが、その際、部活動の地域移行、土日についてはまた別の費用ということになるのですか。

○谷口小中一貫教育課長 はい、おっしゃるとおりです。

○青山委員 部活動の地域移行のほうも、2027年までに学校のほうが完了するというようなことの先日の答弁だったので、それは順調に進んでいるのでしょうか、文化スポーツ部と学校との連携というのは、どんなんでしょうか。

○谷口小中一貫教育課長 必要に応じて随時、学校と地域移行課、それから当課も関係しながら話のほうを進めております。

○青山委員 そちらのほうよろしくをお願いします。

続いて、その下ですけど、教育活動支える教師業務アシスタント配置事業補助金、これが大幅にアップされておられると思うのですが、約400万円。これについて内容を教えてください。

○谷口小中一貫教育課長 こちらにつきましては、教員が子供たちと向き合う機会の充実を図るための働き方改革を進めるに当たりまして、先生方の事務業務の支援をするための支援員ということになります、先ほどの歳入のほうでも触れさせていただきましたが、こちらの範囲が県のカバーしていただける範囲が広がったというところで、増額というふうになっております。

○青山委員 いろんな支援員の方がいられていると思うのですが、その辺のもうどの学校にどのようなふうな形で入る、その配置なんかというのも、大体めどがついとんですか。

○谷口小中一貫教育課長 教師業務の支援員さんに関しましては、全校配置となっております。その他の支援員さんにつきましても、学校の状態を鑑みながら配置のほうを進めてまいりたいと思っております。

○青山委員 その他の支援員というふうなお話があったのですが、ある学校、聞くところによると、まだそういったような内示というか、そういうのを受けていないということで、支援員の方がこの時期になって決まってないので、もし採用されなかったら、今後の就職をどうしようかというようなことで、物すごく不安に思われているようなところもあるのですが、それについては、うまいように進んでいるのでしょうか。

○畑下総合教育部長 ちょっと手続が遅れていますが、それについても進めていきたいと思っております。

○青山委員 図書館の司書、各校の、これも決まってないということで、校長先生なんかはちょっとどうなるかなというようなことを思われております。これについてはうまく進んでいるんですか、どんなんですか。

○畑下総合教育部長 そちらにつきましても、同じように進めていきたいと思っております。

○青山委員 もう新年度を迎えるこの時期なので、各校、必要なそういう人員の配置についても、計画されると思うのですが、本当早急に進めていただきたいと思うのですが、進まない理由は何があるのですか。

○畑下総合教育部長 事務手続なことが遅れているということで、早急に進めてまいろうと思っております。

○青山委員 何か特別な理由があるのですか。

○畑下総合教育部長 特別な理由はありませんが、ちょっと手続が遅れているという状態でございます。

○青山委員 本当に現場は切実な問題を抱えていると思いますし、例えば生徒支援員につきましては、不登校の生徒、あるいは心身に何か問題のある生徒なんか、親御さんも非常に心配されています。せつかく、人間関係ができて、信頼関係ができた、そういう支援員の方に引き続き見て

いただけるかどうか、そういったこともありますんで、ぜひ早急に、あしたにでも、配置のことをお願いしたいと思います。

○立川委員 44、45ページ、県支出金の県委託金、教育費の県委託金で、3節の教育研修諸費委託金633万9,000円ついているのですが、その中で小学校における長期欠席不登校対策システム化推進事業委託金という項目で、601万2,000円上がっているのですが、ちょっと内容等々お知らせいただけたらと思います。

○谷口小中一貫教育課長 こちらにつきましては、県の事業ということになりますが、学校に登校しにくいお子さん、それから登校したけれど、なかなか教室に入りづらいお子さん、そういった方の支援をするという支援員さんをお願いしている事業になります。

○立川委員 支援員さんは、この予算では何名ぐらい予定されとるんですか。

○谷口小中一貫教育課長 6名、今計画しております。

○立川委員 それは常駐でその該当の小学校もしくは教育委員会にいらっしゃって、要請があるときだけ、どういう使い方をされる。

○谷口小中一貫教育課長 1日何時間というような勤務体系というふうになっております。例えばですが、朝の集団登校のときに一緒に付き添ってというような方も中にはおられます。それから、お子さんが学校に来られてから数時間、そういった教室になかなか入れない子供に寄り添いながら、ほぐしていくような支援をされる方なんか含まれているという、そういう内容になります。

○立川委員 これはただし書で、小学校における事業ですが、中学校、それからこの前もそうですが、ほかの学校関係はどういう扱いがあるのでしょうか。

○谷口小中一貫教育課長 中学校は、一緒に登校支援といいますか、付添い登校といったようなものはございませんが、今配置させていただきとります教職員をもって、例えばですが、別室での対応を行ったり、それぞれの家庭と連絡を取り合ったりというようなことなんかもしておるといったような状況であります。

○立川委員 中学校で見えますと、やっぱり御家庭の方、保護者ひっくるめて付き添っていらっしゃる状況、課長御存じだと思いますけど、そういった方たちは支援員に当たらないという判断だと思うのですが、何かそういう毎日行くの大変よってというお話も聞きますので、そういった事業があれば、ぜひまたお願いします。これはお願いで結構です。

○石原委員 54、55ページの雑入のうち、こども園児給食費徴収金、園児給食費徴収金65万8,000円ございますけれども、これの内容、お見込み、お聞かせいただければと思います。

○文田幼児教育課長 こちらの園児給食費の徴収金につきましては、広域利用で備前市の園を市外の方が利用したときに発生する給食費の負担金となっております。

大体4,900円が1年間を見込んでおります。あとは、土曜保育などで給食を利用された負

担金などがございますので、そうしたところの歳入とっております。

○石原委員 これには土曜の保育の給食の負担金も含まれますよということ、ありがとうございます。

それから、その下の職員給食費徴収金でございますけれども、これ4,787万8,000円、昨年度の当初が4,148万8,000円、600万円余り増額かなと思うのですが、それから明細で幼児教育課分が1,711万円ですよ、それから教育総務課分が3,076万8,000円ですよという御説明もこちらでございますけれども、増額になつとられるというのは、単純に給食費の負担の単価が上がってきとんか、それからALTさんの大幅増員などがここへ影響されとんか、そのあたりちょっとお聞かせいただければと思います。

○杉田教育総務課長 それでは、まずは教育総務課分から申し上げます。

教育総務課分につきましては、教職員とそれから調理員、それから要保護教育扶助の方の児童・生徒分の給食費となります。小学校が337人、中学校が145人、単価のほうは、小学校が300円から320円、中学校が340円から360円、それぞれ上がっているという面が大きいかと思います。

○石原委員 単価も上がっていますということと、小・中学校のALTの先生方の分も教育総務課分に含まれておるといふことなのでしょうか。

○杉田教育総務課長 教職員ということであれば、含まれていると思います。

○石原委員 一応小学校、中学校それぞれの単価をお示しいただきましたけど、こども園の先生方って、御負担いただくような徴収金ってどれぐらい先生方は御負担されているものなのでしょうか。

○文田幼児教育課長 こども園の先生方は月6,600円となっております。パートとか短時間の方によりましたら、1食ずつの負担になる方もいらっしゃるのですが、1食330円と計算しております。これは昨年度と変わっておりません。ただ、こども園のほうにつきましては、実習生などの受入れも行ってございまして、そういった方が給食を取られたときには、ここの徴収金で払っていただくようにはなっております。

○石原委員 56、57ページの民生費雑入のうち、一時保育利用者の負担金295万円計上されておりますけれども、こちらのお見込み等をお聞かせいただければと思います。

○文田幼児教育課長 一時保育につきましては、1日利用で2,000円、それから半日で1,000円となっております。実績による見込みを出してございまして、1日2,000円のほうは1,400回、それから半日1,000円のほうは150回というふうに見込んでおります。

○山本委員長 ほかに質疑はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

それでは、歳出に移らせていただきます。

審査の範囲は60ページから100ページの3款民生費、2項老人福祉費までを審査対象とい

たします。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

次に、100ページの3款民生費、3項児童福祉費から一応108ページの児童福祉費までを審査いたします。

○森本委員 104、105ページの保育幼稚園費の18節の備品購入費のところ、資料ではこども園のそれぞれ備品購入が上がっているのですけれども、避難車のほうが2つ上がっていると思うのですが、勉強不足で申し訳ないのですが、お散歩カーと避難車と、これどういう違いがあって、実際のところ、避難車で上げられた理由と、それとこれ各園にどれぐらい配置というか、そろえられておられるのか、ちょっと教えてください。

○文田幼児教育課長 避難車となっておりますけれども、いわゆる保育用のお散歩カーになっております。これは各園必ずあります。ゼロ歳児、1歳児、2歳児、小さなお子さんが利用するものですので、必ずあります。老朽化した園に購入する予定になっております。

○森本委員 1台ずつということは、配置されているという考えでよろしいのでしょうか。

○文田幼児教育課長 規模の大きな園では2台、3台とあるところもあります。

○中西委員 104ページの講師謝礼ですが、去年が20万5,000円、ここで103万6,000円と、この増額の講師謝礼の理由についてお聞かせ願えますか。

○文田幼児教育課長 こちらの講師謝礼につきましては、昨年度は委託料でお願いしていた心理士の先生の巡回相談や、そういった先生のを講師謝礼として報償費で上げさせていただいております。予算上は委託というよりは、報償費のほうが適切であるとの判断でこちらに移っております。

○中西委員 その下の旅費、普通旅費がここで少し多く出てくるのは、これはどんな理由になるのでしょうか。

○文田幼児教育課長 6年度より保育園が全て認定こども園になりまして、予算のほうは保育園費とそれからこども園のものが昨年度と比べて違ってきているところにはなるのですけれども、全体で言いますと、研修旅費とか、普通旅費、それから遠足の旅費や、そういったようなところが増えてきているところです。

○中西委員 104ページの役務費のところ、通信運搬費が昨年19万5,000円、今年度が447万円、思い切ってここ上がっているのですが、何か理由があるのでしょうか。

○文田幼児教育課長 通信運搬費につきましては、電話代とか、5Gの通信料とか、そういったものになっております。全体的に単価も上がっておりますので、そういったところで上がってきていると思っております。

○石原委員 今言われたページの保育幼稚園費の中の需用費の何か消耗品費が学用品、保育材料、そちらでよろしいのですかね。これ申し訳ございませんが、さっきの一般質問でも教育長がお答えいただきましたけれども、あらかた子供さんの単価といいますか、積算根拠といいます

か、そちら御説明いただければと思うのですが。

**○文田幼児教育課長** 需用費の中には、保育材料費、それから賄い材料費等ございます。保育材料費については、教材費です。一般質問で御質問のあった給食の費用については、賄い材料費ということです。こども園では、3歳未満の方が375円、3歳以上が250円ということになっております。

1食当たりの金額ですけれども、3歳未満の方は、体が小さいのでおやつが2回ありまして、給食に汁物が必要ということで、少し高くなっております。

学用品につきましては、3歳未満が月1,498円、それから3歳以上が1,758円、そういったところで予算を組んでおります。

**○石原委員** 下のさきにお答えいただいた賄い材料費、こちら昨年度より約300万円ほど増額になっとなかなど見てとりましたけれども、先ほどおっしゃっていただいた3歳未満と3歳以上のところ、単価ですね、お答えいただきましたけれども、これもさきにあった小・中学校、それぞれ20円ずつ、一応増額で見込まれておりますけれども、こちらがこども園の子供さんのこちらの賄い材料についても、幾らか上乘せというか、6年度に比べて7年度は加算されていますという捉えでよろしいのですか。

**○文田幼児教育課長** こども園につきましては、前年度並みで計算しております。少し子供の入園の申込みの数も減ってきておりますので、予算的には足りてくるのではないかなというふうには思っております。

**○石原委員** 前年度並みということで、単価については。もろもろあらゆる食材も物価高騰の波を受けておりますけれども、さほど現場の先生方というか、栄養士の先生方、食材の調達についてはここまで、これぐらいでしっかりと調達といいますか、さほどこれぐらいで大きな影響はないですよというところよろしいのでしょうか。

**○文田幼児教育課長** 栄養士のほうで献立を立てて食材の調達のほうもしております。園のほうも児童福祉施設における食事の摂取基準というものがございますので、それに基づいて給食のほうを提供しております。物価高騰でいろいろ難しいことも生じてくるのは予想されますけれども、今のところこの予算でいけるのではないかと見込んでおります。

**○石原委員** しっかり状況も鑑みていただいてということで、それから委託料のところ、一番下のところへ、先ほど補正でも出てきましたが、保育所等の広域入所運営費委託料、1号さんと2号、3号さんに分けてございますけれども、こちらは市外の方が市内の保育所を利用されるときで、市内の方が市外、積算根拠出ておりますが、どういう形で委託料はお支払いされるものなのでしょうか。

**○文田幼児教育課長** 保護者のお仕事の都合等で、お勤め先に近い保育園とかこども園の入園を希望される方が利用する制度になっております。

通われる園によって金額が違いますし、行かれる保護者の家庭状況、所得とか、そういったも

ので公定価格に基づいた個人の負担金というものが決まっておりますので、そういったところで入園見込みの予算のほうは算出しております。今現在も行かれています方がいらっしゃるの、継続してその園を利用することを見込んでおります。

○石原委員 ちなみに、それぞれ御利用になられとる子供、何人ずつぐらいおられるのですか。

○文田幼児教育課長 4歳児が2名、それから1歳児が1名、3歳児が1名、4名です。

○尾川委員 105ページの保育幼稚園費の委託料で、職員研修委託料が、ちょっと下がるとるように思います。何か思惑というか、そういう計画でもってこちらの職員研修委託料を下げとるかどうかというのを、教えてもらえたらと思います。

○文田幼児教育課長 先ほど申し上げました巡回の講師ですね、その方の前年度は委託料でお願いしていたものを、報償費へ移っておりますので、その分が減ってきていると思っております。

○尾川委員 特に大きな職員研修と言うたら言葉が、偉そうな言い方しとんじゃけど、大幅な変更があったというのですか。

○文田幼児教育課長 大きく職員研修を減少させたりとか、内容を変えたりとか、そういったことではございません。

○中西委員 105ページの11の需用費ですけども、昨年から見ると、ここは50万円ほど減額になっていますが、昨今の光熱水費の値上がりからして、これで大丈夫なのでしょうか。

○文田幼児教育課長 需用費の中には、消耗品費とか、燃料費、いろんなものが含まれております。御心配のとおり、物価高騰によりまして予算が不安なところもございますが、子供の入園の数も減ってきておまして、このぐらいで大丈夫かな、そこを見込んでの数字になっておりますので、大丈夫かなと思っております。

○中西委員 子供の数が少なくなることによる光熱水費が安くなるというのは、なかなか難しいのじゃないかなと。例えばワンルーム、30人が20人になったとしても、ワンルームを冷暖房かけるには変わりはありませんので、そういう点では人数によって光熱水費がこういう施設の場合に安くなるというのは考えにくいような気がするのですが、いかがでしょうか。

○文田幼児教育課長 そういった部分については、前年度と同様か、もしくは少しかかってくるのかなというふうには見込んでおりますが、保育材料費であったりとか、事務費であったりとか、そういったものについては、多少前年度よりは抑えられるのではないかなというふうに思っております。

○中西委員 光熱水費というのは、そういうものも入るのですか。

○文田幼児教育課長 光熱水費につきましては、園の運営に伴うものなので、お子さんの人数で変わるといったものではないとは思っております。ただ、需用費全体で見ましたら、そういった消耗品とか、そういったところでは予算のほうを抑えるところができるのではないかなというふうに思っております。

○中西委員 例えば需用費の消耗品費は、昨年が1,615万円、今回60万円ほど上がって

る。消耗品で抑えるといっても、ここは上がっているのです。需用費全体は昨年から見ると、大体400万円ぐらい上がっているのですよね。

○文田幼児教育課長 消耗品につきましては、ALTの研修材料費、こども園のほうでALTが壁面にその作ったものを飾ったりだったりとか、簡単な教材などを作ったりしますので、そういったもので消耗品などがたくさん必要にはなってきているので、そこは予算のほうプラスになっております。

○中西委員 あまり細かいことを言いませんけど、ここは必要に応じて補正はしていただいてもいいのじゃないかなと思っています。

あと、下の委託料のところでのこの委託料が、昨年度全体から見ると、200万円ほど上がっている。警備委託料、これが昨年度は169万円でしたけども、今回はここが40万円弱増えているのですが、何かこれは理由があるのでしょうか、それともこれは備前市全体で一括でやっているから、ここの担当課では分からないようなものなののでしょうか。

○文田幼児教育課長 単価のほう若干上がっているように思われます。こちらのほうも警備会社への委託ということになっておりまして、全体で予算というのは決まっているので、そういったところで統一しています。

○中西委員 106ページの委託料のところ、放課後児童クラブ事業委託料ですけど、これは80万円弱ぐらい増えているのですが、子供がここでは増えるというふうに見込んでおられるのでしょうか。

○畑下総合教育部長 こちらについては、子供が増えるということで上がっていると思います。

○中西委員 何人ぐらい増えるのでしょうか。

○畑下総合教育部長 40人ぐらいです。

○中西委員 その下の15番の工事請負費、施設整備工事ですけど、これはどういうものを予定しておられるのでしょうか。

○畑下総合教育部長 こちら伊部の放課後児童クラブの建物について外構工事を行うための工事費でございます。

○中西委員 伊部のは今できていますよね。去年できて、外構工事って、僕はあれで終わりかなと思っていたのですが、何をされるのですか。

○畑下総合教育部長 入り口のところの軒先がちょっと狭くて、雨が降り込んでくる状態になっておりまして、そこを改修する。

○中西委員 もともと建てる時のミスだったのじゃないですか。それを一般には外構工事とは言わないのでは。

例えばさつき苑という老健ができた。できて、職員の入り口の上に屋根がなかった。だから、降り込むから、後で屋根をつけた。それは外構工事とは言わなかった。

○畑下総合教育部長 外構工事とは言わないかもしれないですけど、そういう工事でございます。

す。

○中西委員 しっかり建物を建てる時には、幾ら晴れの国といえども、やっぱり雨は降りますから、雨が降り込まないようにしていただきたいなというふうに思います。

続けて、108ページの委託料、測量調査設計等委託料で100万円が出ているのですが、これはどこでどのような目的で測量調査設計をされるのでしょうか。

○文田幼児教育課長 これにつきましては、香登認定こども園に係る委託料となっております。香登認定こども園については、令和5年度に測量設計委託料として750万円を、令和6年度に繰り越して今年度に至っているのですけれども、方向性のほうがまだ定まっておりません。検討会議ということで、学校評議員さんとか、そういった方たちのメンバーで会議体をつくってございまして、そこで使う資料を作成するための委託料です。

○中西委員 その残り750万円は何に使うのですか。

○文田幼児教育課長 750万円のうち、563万円(後刻「56万3,000円」に訂正)につきましては、地域での説明会でとか、そういったところの資料を作成するために使っております。これは令和5年度からの繰り越すので、残りの部分については、新年度に繰り越すということではできませんので、継続して進めていくための予算となっております。

○中西委員 何という、これまでの説明会の資料で563万円も使った。信じられないな、資料だけで、その何か大きなモデル、何か模型でも作られたのですか、紙代だけで563万円もかかっているのですか。

○文田幼児教育課長 設計等の委託料になっておりますので、複数のプランをつくっております。その中でお示しできるような図面とか、そういったものを作成しております。

○中西委員 分かりました。大変そういう設計委託料というのが、いかに無駄に使われたんかということだけよく分かりました。

今回の100万円ですが、全体の会議の中でいろんなことをされるということですが、その100万円の内訳はどういうふうな積算の根拠になっているのでしょうか。

○文田幼児教育課長 こちらにつきましては、建物の延べ面積、見込みの延べ面積とか、そういったもので人件費から出しております。

それから、業者のほうからも見積りを取りまして、参考とさせていただいて、算出しております。

○中西委員 大体幾らずつぐらいでしょう。

○文田幼児教育課長 市の技師の算出によります人夫賃といいますか、人件費としては100万円ですが、業者からいただいている見積りによりましたら、53万円ぐらいで適地検討業務ということで、計画概算、事業費の概算とか、メリット・デメリットの比較など、そういったものをお願いしようと考えております。

○中西委員 その会議自体は、この7年度は何回ぐらい行われる予定なのでしょう。

○**文田幼児教育課長** 検討会議のメンバーが、学校評議員さんであったり、民生委員さんであったり、PTAの役員さんであったり、そういったメンバーになっております。ふだんのお仕事と  
いいですか、そういったところに支障のない範囲で進めていきたいなと思っているのですけれど  
も、会議の内容によっては、回数も必要になってくるかもしれないですし、順調に進めば、そん  
なに出てきていただく必要もないのかなというふうには思っておりますが、そういったあたりも  
含めて会議の中で進めてまいりたいと思っております。

○**中西委員** なかなか何回というのは難しいかも分かりませんが、でも一応担当課として心積  
もりは、年3回か4回ぐらいは考えておられるのでしょうか。

○**文田幼児教育課長** 担当課では、年に3回か4回ぐらいはできればいいかなと思っておま  
す。ただ、会議の内容にもよってくるのかなというふうになりまして、ちょっと御足労かけます  
し、メンバーが、お仕事を持たれている方とか、いろんな役を持たれている方ですので、スケ  
ジュールの調整というものがとても難しい状況になっておりますので、そういったあたりも含めて  
検討していきたいと思えます。

○**石原委員** 先ほどの委託料ですけれども、ここでは100万円計上されて、それからこれま  
での経緯のところ、令和5年度から繰り越された750万円のうち563万円です。よろしかった。

○**文田幼児教育課長** すいません、間違いです。563万円ではなくて、56万3,000円  
でした。申し訳ございません。

○**石原委員** 100万円の新年度の7年度のほうですけれども、これ可決をされた後につい  
ては、業務委託ですので、今年度56万3,000円で図面を描かれたり、設計をされたり、そ  
ういう業者さんに引き続き委託をというような形で考えておられるのでしょうか。また、改めて  
ということでしょうか。

○**文田幼児教育課長** 本来でしたら、今年度にそれもできたらよかったですけれども、ちょ  
と今からでは、年度内にそれが出来上がることもないですし、会議のほうもまだ1回しか検討  
会議のほうできておりません。この3月の末にもう一回検討会議のほうを行う予定にしてお  
りますので、そういった中で具体的にどういった検討資料が必要なのかというあたりも、御  
相談させていただけたらと思っておりますので、その後になると思えます。

○**石原委員** その会議の話にも及びましたので、もういよいよ年度末ですし、多くの役員さん  
なり、メンバーの方々も年度替わりで、大幅なメンバーも交代ございましょうし、その  
あたりもしっかり、どういった方々が加えられればいいのか、これは正解がなかなか分  
からんですけれども、そのあたりもしっかり慎重に歩を進めていただければなというふう  
に思えます。

○**山本委員長** 暫時休憩します。

午前11時58分 休憩

午後 1時00分 再開

○**山本委員長** 休憩前に引き続き委員会を再開いたします。

○**文田幼児教育課長** 午前中、中西委員から御質問のありました市町村振興センターの財源ですけれども、こちらのほうは宝くじの収益で運営されているということでございます。総務課のほうでの負担、市の負担金というものはないということでございます。

○**山本委員長** 3款民生費、3項児童福祉費の件で質疑はございますか。

○**中西委員** 108ページの委託料の測量調査設計等委託料ですけども、中身についてはお伺いをしたわけですけども、これを上げてくるということは、こども園をどこかに移転をして新たに建てるということですか。

○**文田幼児教育課長** 香登の認定こども園については、そういった計画で現在も進めております。委員さんからの一般質問等で質問もあったときにも市長のほうから回答があったように、ぶれずに進めていきたいというふうな回答があったと思いますので、継続して進めていきたいとは考えております。

○**中西委員** その場合には、大内も含めて一緒にしてしまうという考えですか。

○**文田幼児教育課長** 基本的には、小学校区に一つのこども園ということで進めてきております。大内の現在分園になっておりますけれども、そちらのほうと香登のこども園と本園とを一体的にするべきではないかなというふうには考えております。

○**中西委員** 場所については、例えば面積でいえば、大内のほうが広いかな。そこにするというような考えでもない。新たにいろんなところを探して検討するということですか。

○**文田幼児教育課長** 現在の案では、3か所程度を思っております。その中には、現在の本園の香登のこども園のところも入っています。大内については、土砂災害警戒区域になっておりますし、ちょっと奥まったところがございますので、大内の建物を継続して使うという案は、今のところその中には入っておりません。

○**中西委員** その3か所を一応、候補地として適地かどうかを決めていくというのがこの100万円なわけですか。ちなみに、その3か所だけちょっと私は教えていただけたらと思うんですけども。

○**文田幼児教育課長** 現在の香登認定こども園があります場所と、それから小学校のプールの場所、それからあと旧香登幼稚園のその3か所を検討しております。

○**山本委員長** ほかに質疑はございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

次に、108ページの3款民生費、4項生活保護費から154ページの9款消防費、1項消防費までを審査対象といたします。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

次に、10款教育費、1項教育総務費、154ページから160ページ、161ページの教育総務費までを審査範囲といたします。

○**尾川委員** 谷口課長にちょっとお聞きしたいのですが、全体的な話なのですが、今回の予

算で、特に気になっているのが、学力テストの結果をどういうふうにお考えなのかという、私も一般質問か何かで取り上げてやったこともあります。平均的な話で、私らはただ備前市と近辺の自治体との比較を見たときに、少し数字的に劣るという、平均値が劣るということですけど、そのあたり今回の予算でどういうところに重点を置いて向上策について工夫されとんか、その話をちょっとまずお聞きしたいです。

**○谷口小中一貫教育課長** まずは、落ち着いた学習環境を整えないといけないというところもございまして、人材的なところでいいますと、会計年度任用職員の方の配置というところ、それからあと研修といったあたりのところで、教員の研修を通じて、また子供たちに還元できることもあるというところで、教員研修のあたりも入れさせていただいております。

その教育研修の中には、当課だけでなく、教育政策課の者も入ってくるかなというふうに思います。

そういったあたりで、まずは先生方、子供たちとで落ち着いた環境となるような人的な配置、それから先生の研さんが積めるような機会の充実を通して、子供たちの教育に還元してまいりたいというふうに思っております。

**○尾川委員** それで、一般質問でも市長にお尋ねしたのですが、県の方針と備前市の方針との整合性というか、ある程度乗ってやっていくと、当然裏づけのお金がついてきとるはずですから、そのあたりで岡山県の課題を見たときに、まずはそういう会計年度職員の報酬というか、要するに先生の配置を考えておられるということで、問題解決の一つとして捉えられとるというふうに理解したらいいのですか。

**○谷口小中一貫教育課長** そういった子供たちが落ち着いて学習に取り組んだり、魅力ある学校として登校したいというふうに思えるような、そういう環境整備の一つに、人的な配置というものも重要だというふうに捉えております。

**○尾川委員** CBTのテストが今度学力テストの中へ入ってくるというふうに、私は理解しとんです。そのあたりの予算というのは、特に対策として上げられとるということはないのですか。

**○谷口小中一貫教育課長** 市の予算では上げておりませんが、県の事業のほうで、全く同じタイプかどうかはまだちょっと全てが明らかになってないところもありますけれど、端末を活用したテストに回答するとか、問題を解いてみるといったようなものがございまして、それに取り組んでおるところでございまして。

**○尾川委員** 特に県のほうでは、家庭学習ということを中心に置いとるということです。市としては、そのあたりなかなか家庭での勉強というのは、非常に取り組み難いというんか、非常に難しい問題ですけど、何かアプローチされるという考えはないのですか。

**○谷口小中一貫教育課長** 授業と家庭学習の連動性といったところは、学校とも共有して、どういう形が授業と家へ帰ってからも、より個の学びを深めるようなものになるかといったものは、協議をしておるところでございまして。その中の一つとして、帰る前に帰りの会とか、帰りの会の

ショートホームルームとか、そういったところでスケジュール、今日帰ってから一人一人の子供たちがどういう時間を計画して家庭学習に取り組むかといったようなものを取り組んだりですとか、スケジュール管理に取り込んだりですとか、それから端末の持ち帰りによって、AIドリルの活用で、それぞれの学びたい、学びを伸ばしたいようなところに触れていくっていうような、そういう仕組み、環境づくりに今努めておるところです。

**○尾川委員** 他の自治体で塾に力を入れるということで、塾、今まなび塾とかで、取組はあるのですが、私も前の教育長にはまなび塾をもっと充実して、塾へ行く子供を、塾の代わりにまなび塾でやるぐらいにやったらどうかという提案もしたことがあって、力入れるというふうな話もあったのですが、どうも一緒に遊ぶと言うたら言葉が悪いけど、そんなほうになって、本格的に学習塾というふうなことではないような感じがあるんですけど、その辺最後に所見を述べていただけたらと思います。

**○谷口小中一貫教育課長** まなび塾ということになりますと、生涯学習課ということにはなりますが、生涯学習課のほうでも、基礎基本の内容、学習に関すること、それからもっと広い捉えでの学びというところで、体験活動の充実といったものが計画的に取り組まれているというふうには聞いております。基礎基本の部分も含めて子供たちにより一人の人間として成長していく中での学ぶ力であるとか、学力といったものは、まなび塾のほうでも補完が部分的になされているというふうには私と考えております。

**○守井委員** 事務局費の13節の委託料のところの国際交流等業務委託料2億8,396万5,000円の事業ですが、これが今までいろいろお話があった事業のことだろうと思いますが、新規事業ではないALTの拡充策ということだろうと思うので、新規事業に入ってきてないのだろうと思いますけれども、そのあたりの全体概要みたいな形の、例えばこの間の委員会のほうでお話ございましたけど、採用までの期間が短いとかということもあるかと思うけど、全体のこの事業のこの予算の内訳と併せたタイムスケジュール的なものが分かる範囲でお答えできればありがたいと思います。

**○畑下総合教育部長** こちらの国際交流の業務委託料、内訳としましては、生活支援に係るものとか、それから外国語指導に関わるカリキュラムを作っていただくとか、それから国際交流事業の補助、それからALT配属先と教職員の連携とかの支援業務、それからALTの指導力向上に係る研修とかを計画しております。

大体1人当たり370万円ぐらいを見込んで計上させていただいております。

それから、今のスケジュールに関しましては、今、包括連携協定におけます業者のほうから、フィリピンのほうから来ていただく方の入国手続の支援とか、居住地の確保とかの支援を行っていただいております。

居住地については、各小学校区へ居住していただくような準備をさせていただいております。

それから、入国というか、採用に関しましては、この3月21日に議決が取られましたら、そ

の後、そのあっせん業者のほうから紹介していただいた方を面接等行って、採用決定をしていき、それからこちらのほうから3月26日に入国予定でございます。

それと、今後入ってでございますが、学校のほうとも協議をしておりますが、一応、1か月ぐらゐの間はこちらの研修期間として、いろいろこちらのことの状況も知っていただくということを行いまして、5月に入ってから各学校配置を予定しております。

○守井委員 生活支援とか国際交流とか指導力とか、何とか何とかでしとられて370万円というのを見積もつとるといようなことですが、その内訳、トータル金額じゃなくて、1人当たりが370万円で、75人を予定しとるといって、その370万円の内訳が今さっき言われたことでしょうか、その内訳というの分かるのでしょうか、分かる範囲で。

○畑下総合教育部長 申し訳ありません。ちょっと個々の内訳については。

○守井委員 分からない。

○畑下総合教育部長 はい。

○守井委員 それぞれ来られた方が、小学校、中学校で分かれていくわけですが、それがどこへどなたが行くかという話のところは、どういう具合な配属を考えておられるのですか、本人の希望によるのですか、それとも。

○畑下総合教育部長 今こちらで、現に行っているALTの方が会計年度職員では10名おりますので、そちらの方と、それから今度派遣していただく75人の方、合わせて85人で各小学校、中学校、こども園のほうへ配置してまいります。

○守井委員 それはもう事務局のほうで適性を見て判断していくような格好で配属していく予定にしているのですか。

○畑下総合教育部長 こちらのほうで適性を見て配置していく予定でございます。

○守井委員 学校教育現場の中に多くの人が入ってくるということで、ALT業務であるわけですが、その前にまず学校の指導者ということになってくるといいますから、いろんな子供たちや生徒に対していろんな指導ができれば一番いいと思うのですが、そのあたりの業務みたいなもの、多少関わってもらふような話になるのでしょうか、そのあたりいかがですか。

○畑下総合教育部長 外国語助手として入ってきますが、学校の支援関係とかも行っていただくようお願いしようと思っております。

○石原委員 委託業務については分かりました。これがもし可決されますと、委託業者の選定、決定というのはどういう形で行われるのでしょうか。

○畑下総合教育部長 こちらにつきましても、可決されましたら、公募をかけまして、選定していきたいと思っております。

○石原委員 可決が3月21日でしょうけれども、それから可決されましたら公募されて、3月26日には何か、もう皆さん方、入国の予定と言われたのですかね、5日後には。公募期間ってどれぐらい取られるのですか、こういう委託では、見込んでおられるのは。

○畑下総合教育部長 1週間ほど見ております。

○石原委員 あくまで予定でしょうけど、3月22日、最短で公募をかけられて、2週間程度、3月29日、曜日は分かりませんが、それぐらいまでの公募、それからプロポーザルですか、これは。

○畑下総合教育部長 公募型のプロポーザルで行おうと思っております。

○石原委員 これもあくまで想定ですけど、公募が締め切られた後、審査、業者決定、どれぐらいの流れで想定をいただけるのでしょうか。

○畑下総合教育部長 4月からなので、それまでに間に合うように行っています。

○石原委員 そのスケジュール感をお聞きしただけで、もうあまりにも過密だなというのを実感したわけですが。報酬、給料、職員手当、旅費、費用弁償等々も含まれると思うのですけれども、これ85名のALTの方の人件費を含んだ予算ということで、ALTさんは85名分がこの中に入っていますよということよろしいですか。

○畑下総合教育部長 はい、85名分が入っております。

○石原委員 先ほどのあまりに過密スケジュール等、来られる職員の方の質の担保や、そのあたりを含めて、大いに疑念も感じるところですけども、選択肢の一つとして、85名はいかがなものか、現状のこども園10名、小学校10名、中学校5名、この状態に戻すような修正案も考え得るわけですけども、そうなった場合に、これら経費からどの費用をどれだけ削除すれば、現状の現行の25名分の費用となるのかということをごちょっと、内訳、これ事前にあらかたお伝えはさせていただいたと思うけれども、お教えいただければと思います。

○畑下総合教育部長 今の25名分にいたしますと、人件費費用は1億6,325万2,000円ぐらいです。

○石原委員 くらいとかじゃなくて、それから人件費でとかじゃなくて、どの費用、費目をどれだけというところでお答えお教えいただけますか。

○畑下総合教育部長 概算ですが、報酬が7,026万1,000円、期末勤勉手当が1,859万1,000円、共済費の共済費負担金が525万4,000円、共済費事務費負担金が18万6,000円、社会保険料が841万9,000円、旅費が374万8,000円。先ほどの委託料につきましての委託対象者が、委託料につきましては75人の委託料になっていますので、こちらから15人行きますと、委託料につきましては5,679万3,000円になります。

全て足しましたら、1億6,325万2,000円。

○石原委員 お答えありがとうございます。先ほど言われた、合計で1億6,325万2,000円、これが追加となる方々の費用ということで。

○畑下総合教育部長 これが25名にした場合の金額です。

○石原委員 これが25名ですか。

○畑下総合教育部長 はい。

○石原委員 先ほどおっしゃった金額が25名分の金額がそれだけ。それから、委託料については、25名分のうち。

○畑下総合教育部長 10名は現在のALTなので、こちらの。

○石原委員 10名はあれだから、15名分が。

○畑下総合教育部長 はい。

○石原委員 歳入のほうになるが、これ財源については、交付税措置もなされる旨、やり取りございましたが、これはお一人当たりで換算されるんか、どれぐらいが交付税措置されるという。

○畑下総合教育部長 1人当たり420万円(後刻「480万円」に訂正)を見込んでおりますので、こちらは今の10名はこの措置を見込んでいないので、15人分で7,200万円の交付税措置の見込みでございます。

○石原委員 可決された後、85名の方が来られた場合、原則では、そのときにお一人、ざっと420万円というところで、算定されるということ。

○畑下総合教育部長 来られるのは75です。

○石原委員 今、10人おられるから、一旦分かりました。

○中西委員 報酬の中で、75人の報酬は幾らになるのでしょうか。

○畑下総合教育部長 2億1,075万円です、報酬は。

○中西委員 もう一度。

○畑下総合教育部長 申し訳ありません。間違えました。

○中西委員 一つ教えてほしいのは、単価から言ってほしいです。交付税は420万円ですけども、報酬はもっと大きいと思う。

○畑下総合教育部長 報酬の件費自体は全体で1人当たり420万円ぐらいです。

○中西委員 フィリピンから来る人たちが報酬部分で420万円掛ける75人。

○畑下総合教育部長 さっきの手当も含めてですね。報酬も含めて全体で。はい、そうです。

○中西委員 報酬も手当も含めて420万円ですか。私が聞いているのは、報酬で幾らか。

○畑下総合教育部長 報酬だけで1人当たりでしたら、281万円です。

○中西委員 それから、10人の、つまり去年から雇っている10人の報酬の単価は幾らですか。

○畑下総合教育部長 2年目になるので、若干違いますが、あまり変わらない単価です。

○中西委員 幾らか教えてください。

○畑下総合教育部長 失礼しました。同じでございます。

○中西委員 同じというのは、281万円ですか。

○畑下総合教育部長 はい。

○中西委員 これは文教委員会の中で私が聞いていた、つまり人件費とそれに関わる経費、県の

市町村課の財政班で備前市の財政課が言うのは、約480万円と、交付税で来るのは480万円という御返事です。さっきの420万円というのは、どういうところから出た話でしょうか。

○畑下総合教育部長 申し訳ありません。金額を間違えました。交付税1人の算入が480万円でした。420万円は間違いです。申し訳ありません。

○中西委員 この交付税の480万円は、この予算書の中では、どこどこに入ってくるのでしょうか。

○畑下総合教育部長 交付税算入ですので、一般財源としてしか予算書には入っていませんが、経費としたら先ほどの今、事業予算で上げています全体の6億4,592万7,000円のところに入ってきます、1人当たり480万円。480万円はあくまでも6年度の見込みの金額です。

○中西委員 ところが、480万円だけど、約480万円しか県の市町村課の財政班も言わない。1人当たりね、約480万円と言われるけど、その対象の範囲、必要な経費の対象の範囲とそれからこの委託料が入るかどうか、つまり国際交流等業務委託料が入るかどうか、このことについては明快な答弁はないです。

○畑下総合教育部長 交付税算入の中も、はっきりと書いてあるのは、かかる経費になっていますので、そのALTを呼ぶ経費、もちろんこの人件費も入りますし、その人件費で生活支援とか、先ほど言った委託料の中にもその活用する経費っていうのが含まれますので、そういったことも対象に入ってきますけど、その委託料のどの部分がとかというやつではなくて、このALTさん1人に全体的にかかる、先ほど言いました、今1人当たり、人件費が420万円ほどかかるのですけれど、それから委託料として1人当たり370万円ほどかかります。それが今の全体の1人当たりの経費になりますけれど、うちで見れば。ただ、それが対象になるだけで、対象として見ていただけますが、そのうちの交付税の算入される多分計算式、国が持っているどれだけ分の経費みたいながあると思いますので、その何割かということで交付税算入されるということになりますので、それが6年度は1人当たり480万円だったという話でございます。

○中西委員 なかなか評価の分かれるところですけども、この問題で奈義町が既に議会でこのALTについては否決をされていると。その理由は、民間の業者への委託料の経費は、町の執行部が答弁した中身は認められないというふうに言われたことによって、議会は否決をしたということになるわけですけども、その答弁が備前市と奈義町では大分違いますよね。どちらが正しいかどうかというのは、4月1日でどのように国のほうがカウントしてくるんかということによったときに多分分かると思います。ただ、このところは大変フェジーなことだけは、私も理解ができます。

もう一つは、その国際交流等の業務委託料、ここでもう一回どういう項目があるのか教えていただきたいと思います。

○畑下総合教育部長 まず、生活支援です。日常生活に係る問題対応とかですね。それから、外

国語指導に関する監修、カリキュラムの作成、それから協定先との国際交流事業の補助、学校同士の交流とかオンラインとかの交流のことでございます。それから、ALT配属先の教職員との連携に係る業務支援、それからALTの指導力向上に係る研修でございます。

○中西委員 これはさっき守井委員のほうから、それぞれ幾らぐらいの積算になるんかということでは、答えられないということだったのですが、総額は、その単価がそれぞれ出てこない、決まらんとします。でも、実際には幾らぐらいになるのですか。

○畑下総合教育部長 こういう業務の概算で頂いております。

○中西委員 これどこから頂いているのですか。

○畑下総合教育部長 包括連携を結んでいるアチーブゴールのほうから頂いております。

○中西委員 まだ入札は行われてないにしても、恐らくプロポーザルの入札でアチーブゴールを取ると、概算を出してきたところが入札でそこを取ると、こんなもん出来レースじゃないですか。

○畑下総合教育部長 これにつきましても、これだけたくさんの方の人数のALTを入れるに当たり、こういう業務支援とかっていうのは、ほかの業者さんでもできる部分があるはずでございますので、一応そういうちゃんとした業務量になっているのかとか、比較するためにも、公に出して、こういうことだったらどれくらいできるかなっていうやつの比較もできるかなと思っておりますので、そういった意味でも、公募で出す予定でございます。

○中西委員 それはそれで入札が行われた結果については、私も楽しみにしているわけですが、この75人の方というのは、日本語がしゃべれる方なのですか。

○畑下総合教育部長 はい、一応その日本語しゃべれる方をとはお願いはしておりますが、やっぱりレベルがいろいろございますので、今のところこちらのほうで聞き及んでいるのは、20名ぐらいは結構日本語をしゃべれる方がいるとは伺っております。

○中西委員 もう既に20人ぐらいは日本語がしゃべれる子がおるということが分かっているわけですか。

○畑下総合教育部長 いろいろこちら、あらかじめ面接等の準備もしないといけないので、いろいろどういった方がおられるかという情報交換はさせていただいております。

○中西委員 現場の先生方にとってみれば、特に英語の専科のない小学校なんかは、中学みたいに英語の先生がおられるところと違って、その人たちの指導をどうするんかということ、大変現場の先生方の大きな負担になると思います。アチーブゴールがカリキュラムの作成とかいろいろするにしても、やっぱり細かいところは、先生方が指導しなければいけないということになってくる。そういう点での現場の先生方の御意見というのは、お伺いにはなされたでしょうか。

○畑下総合教育部長 また、そういった場合につきましても、小学校、6人、もうALTの方が入ってくるという予定になりますので、一応その中でリーダー的な方を1人ALTの中でも決めて、その場で先生方と協力してどうやって進めていくかっていうような形にしていけばというよ

うな考えでおります。

○中西委員 この準備のために、先週あたり、あるいは先々週あたり、教育委員会の皆さんの中でフィリピンのセブ島に行かれた方はおられますか。

○畑下総合教育部長 この準備の中では、そちらのほうには行った者はありません。

○中西委員 じゃあ、向こうで包括協定を結んでいるアチーブゴールが勝手に備前市の教育委員会の意向を受けて、向こうで採用に当たっているということなのですか。

○畑下総合教育部長 交流協定を結んだときに、コルドバとそれからアチーブゴールさんとうちへのALTについてのあっせんの協定書を結んでおりますので、コルドバとの相談をしながら、こちらのほうへあっせんしてくださる方を決めてくださっているという状態です。

○中西委員 今何人ぐらいあっせんの方が決まっていますか。

○畑下総合教育部長 一応75名こちらのほうでお願いはしているので、75名は今のところは確保していただいていると思います。

○中西委員 もう既に75名が確保されていると、こちらに来て面接をして、75名が一人でも欠けずに採用されると。

○畑下総合教育部長 こちらでもやっぱり面接をいたしますので、その結果はどうなる形かというのとは。

○中西委員 面接は日本語でされるのですか。

○畑下総合教育部長 日本語と、それからこちらのほうに英語もできる方もおられますので、英語と日本語とどちらとも面接はするつもりでございます。

○中西委員 一般にALTの教育委員会なんかの面接は、英語でされているというのが一般的なようですね。備前市のように日本語で面接するというのは、珍しいらしいです。

○畑下総合教育部長 一応、面接の中の項目にどのぐらい日本語ができるか等々も入れておりますので、そのあたりで判断もできるのではないかと考えております。

○中西委員 あとアチーブゴールは、住居のあっせんまでされるわけですか。

○畑下総合教育部長 そのあっせん協定の中に、住居等の確保っていうのも入っておりますので、そのあたりもお願いはしております。

○中西委員 住居は今どのくらい決まっているのでしょうか。

○畑下総合教育部長 先ほど学校区内のほうになるべく住んでいただきたいということで確保していただいておりますが、区内でやっぱり住居がないところもあったり、借りるところがないところもあったりするので、今ちょっとそのあたりをどうするかみたいなどころまでになっております。

○中西委員 何軒確保、今できているのですか。

○畑下総合教育部長 一応16か所ほど今のところは決められていると聞いております。

○中西委員 その16か所は、例えば1人で1軒じゃなくて、四、五人で1軒とか、二、三人で

1軒とか、そういうような感じで住まわれるわけですか。

○畑下総合教育部長 はい、何人かで住まわれるとかになると思います。

○中西委員 こういう枠組みでいくと、毎年こういうところに6億円もお金をかけるわけですが、毎年かけて備前市はやっていくぞということですか。

○畑下総合教育部長 今のところ、そういう形で進めていくという方針でございます。

○中西委員 それで、財源の話ですけど、この75人については、480万円の交付税措置があると、しかし10名については、どうなるわけですか。

○畑下総合教育部長 ここにつきましても、この10名のうちで、これ基本、交流協定先の国の方じゃないといけないので、今おられる方もフィリピンの方もおられますし、アメリカの方とか、アメリカとも交流協定、今結んでおる状態なので、できればいけるのではないかということなので、手続を踏めればと思って、検討しております。

○中西委員 10人の方が私はどこの国からお越しなっとられるか分かりませんが、その10名の方の国際交流ということで協定を結んでいくということですか。

○畑下総合教育部長 既に備前市と交流を結んでいる国の方がおられるので、その方について対象になるのかどうか今検討して、手続ができれば、進めていきたいなとは思っております。

○中西委員 当初の予算書がある段階で、まだ検討しておられるわけですか。

○畑下総合教育部長 こちらについては、ちょっと手続が遅れて大変申し訳ないですが、その方たちも、これだったら対象になるのじゃないのかというのがちょっと気づくのが遅過ぎまして、今手続をできるようでしたらやっていきたいなと思ってやっております。

○中西委員 つまり6年度からそういうことは十分対応できてなかったということですね。その上に立ってお伺いしたいのは、こちらのALTに関わる総費用に対しての国からの交付税算入は幾らぐらいあるのですか。

○畑下総合教育部長 一応今、今回見込みで上げている分については、先ほどの75名で480万円の3億6,000万円を見込んでおります。

○中西委員 こちらの総費用はお幾らになるか、もう一回お願いします。

○畑下総合教育部長 今上げている総費用は、6億4,592万7,000円です。

○石原委員 先ほど部長に細やかに金額を、それぞれ25名分にした場合の金額をお聞きしましたけれども、これは改めて間違いがあったらいけませんので、一覧で紙ベースで頂きたいのと、それから併せて、そこで25名分の金額を聞いたとて、残りの加わる方の金額が幾らかというのがなければ、よくよく考えれば、対応いたしかねるので、ベースとなる25名分の金額は先ほど報酬であれば7,026万1,000円ですよ、もろもろございましたけれども、ここで7年度から一気に加えられる方々の人数分のそれぞれの費用も合わせてお示しをいただきたいと思えます。幾らを削除すれば25名分になるのかというのは、今の御説明じゃよくよく考えれば判断いたしかねるなという思いに至りましたので、聞いても間違いがあったらおえんです。

○中西委員 私は前もって、委員会するときにも、10名と75名の金額が違う、それから財源措置も含めて、ここの委員会で聞くということを申し上げておりました。同時に、前もって積算の根拠と財源内訳を示してくれと言ったのですが、それが出てこない。

○山本委員長 資料提出できますか。

○畑下総合教育部長 後ほど提出させていただきます。

○森本委員 結局、ALTを増やすということは、英語教育、なじんでいくというのがありますし、着地点としては、間違っていたらごめんなさい。次の159ページの負担金補助及び交付金のところで、検定受験料支援補助金であるのですが、検定しか書いてないので、英検を指しているのか、別の検定を指しているのか分からないのですが、ちょっとその辺も含めて、着地点としては、子供たちにどこまで英語教育に対して進んでもらいたいというふうに、市としての方針をちょっとお聞かせください。

○畑下総合教育部長 それは英検の検定の負担の分でございます。

その着地点といいますか、多分一般質問のほうでも、こういった形でそういう指標を出すのにかつてというような御質問があったとは思いますが、その中の一つで、英検を受けていただいて、その英検のレベルを上げていくとか、その英検を受けていただく人がたくさん出てくるとかつてというのは、一つの指標になるのではないかと思うので、そういった意味でも、そういった補助的なこともさせていただいております。

○森本委員 昨今、大学とか、どの学部に対しても英語能力を求める学部が多いので、もちろん英語を話せるのが一番ですが、英語の塾に行くとしたら、1教科それこそ1万5,000円や2万5,000円とか、高額な費用を払うことになります。日常的なところで英語に親しんでいくつてというような状況を、私としては個人的には備前市としては目指しているのかなというふうには捉えてはいるのですが、塾に行ってる行ってないつてというのは、個人的な調査なので全体像はつかめていませんけれど、なかなか全家庭が英語塾に行かせているとはちょっと考えにくいし、聞いたところでは行ってないという御家庭も聞いていますので、その点も含めて、学校で英語教育をしっかり進めていこうというふうに、英検の補助をするぐらいですから、これ受検の対策にもなるかと思うのですが、そういうふうな捉え方をしているというふうに思っているのでしょうか。

○畑下総合教育部長 はい、森本委員のおっしゃられるとおりでございます。たくさんの英語の先生と親しんでいただいて、英語を生活の中で聞き慣れていただくというのが一番効果的なことだと思いますので、そのために入れている事業でございます。

○森本委員 保護者の有志の方から意見書のほうを議会のほうに出されています。執行部にも出されていると思うけれど、これ御意見を、保護者の方が、中には賛同の方もいらっしゃいますし、不安を感じておられる方もいらっしゃるのですが、読まれてどういうふうにとらえられているのか、この点だけお伺いして終わりたいと思います。

○**畑下総合教育部長** 海外からの招致で交付税算入があるとかというところまでは、多分どこまで認識されているかっていうのはちょっと分からないですけど、いろいろな御意見もあるとは思いますが、この御意見についてもこちらのほうで検証する必要があるのではないかと考えております。

○**青山委員** 以前にコーディネーターのお話をさせてもらったと思うけど、今回そのALTの中にリーダー的な存在がいてということですけど、なかなか日本語がある程度できるといっても、細かいところまでできないと思いますし、小学校というのは、各学年で英語の取扱いが違うということもあります。その辺で、コーディネーターを今後配置するとか、そんな計画はされてないですか。

○**畑下総合教育部長** その配置になりましたALTの中で、特にそういう日本語も得意としている方をメインにコーディネーター、コーディネーターというか、そのリーダーみたいな形でまとめていこうかなと思いますので、一応その方にコーディネーターならコーディネーターになっていただくかとは考えております。

○**青山委員** 言われたことを伝えるという意味でのコーディネーターでなくて、例えばカリキュラムの問題とか、イベントとか、そういう行事、学校行事にどういうふうに関わってもらおうかというふうな、やはりそういう学校の要望をしっかりと伝えられる、あるいはALTからの考えも、アイデアとかあると思うけど、そういったふうなことができるようなコーディネーターが必要と思うけど、その点についてはいかがですか。

○**畑下総合教育部長** そういった意味でも、両方ともいける、日本語も堪能なというか、ALTの中でもそういう堪能な者を、リーダーっていうのですかね、そのALTのリーダーとして、学校の先生とかといろいろお話をして、いろんなことを進めていくような形にしていきたいなと思っております。

○**青山委員** 小・中学校でいうと15名、学校数、リーダーが必要になると思うけど、15名、そういう確保できますか。

○**畑下総合教育部長** 別ではなくて、そのALTの中で小学校なら小学校、1校に6名いるかと思うのですが、その6名の中の1人を、日本語ができる方がメインになっていただくと思うのですが、この方に両方ともコーディネートしていただく役を、リーダーとして1人になっていただくというような形です。

○**青山委員** ですから、小学校だったら6名ですけど、それが各校でいうと、小・中でいうと15名、15学校に必要なわけで、15名になると思うけど、そういったようなところのサポートというのは、どういうふうに考えられていますか。

○**畑下総合教育部長** その15名に対するサポートということですかね。

○**青山委員** いやいやいやいや、それぞれの学校に1名ずつ、そういうALTの中のリーダーがいるということになると、15名要るじゃないかと、15校あるので、それが確保できないで

るか、できない場合にはどういうふうな確保等を考えられとるか。

○畑下総合教育部長 派遣したALTの中でお一人、その方になっていただくので、別で1人ずつをつけるわけではないです。

○青山委員 例えばA小学校では6名ALTがいて、そのうちの1人がリーダーですね。でもB学校にも1名、そうすると、15校、小・中学校であるので、ALTで賄うとなると、15名、そういうリーダーになるような、日本語ができてリーダーシップが取れるような人が確保できるのか、できない場合にはどういうふうにされるのか。

○畑下総合教育部長 そのように確保できるように配置はしていきます。

○青山委員 ぜひお願いしたいと思います。学校のほうの不安は、大勢来てくれるのはいい面もあるけど、その一人一人に対応するというは、なかなか大変だと、教員もそれぞれの担当があつたり、授業の業務があつたりするのでということをお心配されている。そういったようなことを現場の教員、あるいは校長、そういったところとしっかり詰めていただいていますか。

○畑下総合教育部長 そういったこともございますので、最初の一月は研修期間と、それから学校との協議とかで進めていきたいと思っております。

○青山委員 今から選ぶに当たって、学校の意見を聞いてというのは、もうこのタイムスケジュールでいうと、なかなか難しいと思います。私も個人的には、2年前の25名、各校1人というところで、学校が割と対応できているのじゃないかな。学校もそれで十分とは言えないかもしれないけど、非常に役に立ったということをおっしゃるところもあります。ですから、85名の配置ということが決まった場合、その1か月の研修期間でしっかり現場と対応していただきたいと思います。

○畑下総合教育部長 委員さんおっしゃられるとおり、学校ともしっかり協議して進めてまいりたいと思います。

○立川委員 さっきちょっと出ました費用構成のほうのペーパー提出というお願いをしたと思うけど、さっき部長がおっしゃった6億4,000万円の総事業と捉えましたので、それに対する節での計上、例えば報酬が幾ら、職員手当が幾らというのは分かりますよね。それを積んだものが6億4,000万円の事業と、4,000万円強の、その明細ですね、それからちよろっとお話を聞いていて、例えば協定先との交流で、他部署の分が出てきたり、そういうのがあったので、款またぎ、項またぎで、ALT事業6億4,000万円に対する費用の明細、計上したよりどころとなる節、金額、併せてお願いしたいです。

○畑下総合教育部長 紙で提出させていただきます。

○立川委員 ここだけと違って、よそで計上している分はあるんですか、この事業で。さっきちらっと生活支援だとか協定先との交流とかで、他部署の名前がちらっと出てきた気がするんですけど、ないですか。

○畑下総合教育部長 他部署ではございません。委託料の中のこういった交流かという内訳だっ

たので、この委託料の中で収まっています。

○立川委員 じゃあ、それで足し算したものを確認させていただきたいと思います。

それと、歳入でこの前委員会のほうで資料も頂いたんですけど、この交付金頂く条件として、4月1日現在に任用されてなかったらいかんという項目があったと思うけど、仮にこれ契約が遅れて4月2日の廃止になったら、交付税に入らない、算入してくれないという解釈をしておるんですが、そういう方が何名か出たときには、また財源が変わってくると思うけど、その辺のお考えについてお聞かせください。

○畑下総合教育部長 4月1日時点で任用されていることが、交付税算入の条件ですので、それに間に合うように事業を進めていこうと思っております。

○立川委員 部長、希望は大変よく分かるのですが、何らかの事情で4月1日にこの場所、例えば教育委員会の場所にいらっしゃらなかったら、交付税算入はされないということでしょうか。だとすれば、ずれて来られた方の交付税算入はできないと解釈したほうがいいのでしょうか。だとすれば、その分はどっからまた財源を引っ張るのでしょうか。御努力の御希望はよく分かりますけど、いかがですか。

○畑下総合教育部長 間に合わなければ算定されませんので、交付税算入できませんが、今はそれに間に合うように事業を進めていきます。

○立川委員 御努力いただいたらいいと思います。3億6,000万円ぐらいの交付税を見込んでおられるので、人数が減れば減るだけ交付税算入していただけませんので、総費用が変わらなければ、当然、負担は増えると、4月1日に75人勢ぞろいしていることをお祈りして終わります。

○山本委員長 暫時休憩します。

午後 2時09分 休憩

午後 2時25分 再開

○山本委員長 休憩前に引き続き委員会を再開いたします。

○尾川委員 今さっきの国際交流等業務委託料について、もうちょっと分かりやすい、詳しく短めでいいので、きちっとポイントを説明してほしい。教育長でもええよ、上といっても、教育長しかおらんじゃろうから。そのほうが具体的に言うたほうがいいと思う。

○山本委員長 教育長に来ていただきたいと。

暫時休憩します。

午後 2時26分 休憩

午後 2時27分 再開

○山本委員長 委員会を再開いたします。

委員の皆さんにお諮りします。

教育長を呼ぶことにしてよろしいでしょうか。

○石原委員 教育長はいいでしょう。資料を一応出していただいて、資料と一緒に。資料を見てそれからでいいのではないですか。

○立川委員 資料要求しているやつは資料を頂いて、それを説明するかどうかということで、2つに分けてお願いします。教育長に来てもらうのか、資料だけでいくのか、資料と教育長に来ていただくのか、3択でいかれたらどうですか。

○尾川委員 また同じ話になるのじゃないか、結局それだったら。ぱっと来てもらって。責任持った者に説明してもらったら早いんじゃないのか、どうせ同じ話じゃろうが、今は。

○石原委員 委員長、取りあえず資料でお出しをいただいて、それを見て、部長がもう言うても、言ったら最高責任者みたいなものじゃないですか、委員会においては。それを見て、また判断させていただきゃいいのではないですか。

○山本委員長 教育長を呼ぶことに賛成の方の挙手を願います。

[賛成者挙手]

賛成少数のため、否決します。

○石原委員 では、ALTはまた資料の提出もお待ちをして、それから教育事務局費になるのか、通学かばんの支給に係る予算はどちらへ含まれとんでしょうか。

○杉田教育総務課長 通学かばんにつきましては、補正予算のほうで予定いたしております。

通常でしたら、教育費の小学校費の教育振興費のほうで上げておりましたが、来年度につきましては補正対応のほうを予定いたしておりますので、上げておりません。

○石原委員 ほんなら、6月以降の補正予算。

○杉田教育総務課長 執行のほうが、当然ランドセルですから3月ということになりますので、補正対応でも十分間に合うというふうに考えています。

○石原委員 確認させていただきますが、市長の御答弁でこの間、一般質問の中で、「通学かばんについては、予算書を御覧になれば分かると思います。計上しております」みたいなことを発言されて、全く市長の見間違いというか、全く予算には反映されていないということでいいですね、現状では。

○杉田教育総務課長 私どものほうで説明不足でした。申し訳ございません。

○石原委員 市長とのやり取り、分かりませんが、公式の場でああいうような形で表現されて、ここで幾ら言うたところまでということですけども、また確認をさせていただきたいと思えます。

それから、先ほど歳入で青山委員も取り上げられましたけれども、来年度のこちら報酬等で計上されておる小・中学校の支援員の先生、それから図書館司書、用務員も含めて手続等に遅れが生じてということでしたけれども、今おられる方々で来年度、7年度どうされるのか、引き続きなのか、何名公募せねばならないのかは、しっかり把握されて、採用試験というのですか、そちらに向けて進んでいるというところでよろしいか。

参考資料の40ページにも、それぞれの学校の見込みも出ておりますけれども、これらの中から何名の方を募集せねばならないというようなところ、把握されているのであれば。

○畑下総合教育部長 こちらの表にあります市費のほうにつきましては、至急に進めていきたいと思っております。

○石原委員 先ほど議論ありましたけれども、外国の先生方をお呼びする作業も大変タイトな日程ですけれども、その前にまずはこういった現場の業務をつかさどる先生方の確保こそ、まずもってなされておらなければならないのじゃないか。今日が3月17日ですので、手続に時間をと言われましても、ここでお聞きするだけでも、混乱を来すんじゃないかな。年度末もむちゃくちゃな状態になるんじゃないかな、教育委員会さんは。想像できるわけですけれども。手続を整えて、いつ頃から採用試験ですか、そういったものを想定されているのでしょうか。

○畑下総合教育部長 直ちに進めていきたいと思っております。

○石原委員 それから、そういった会計年度任用職員さんを含め、教育委員会所管の市費の職員さんの採用試験の実施については、採用試験の実施、採用については部長が決裁区分においては、教育部長の決裁で実施が行われるということによろしいですか。決裁の規定を見ましたところ、そのような丸がついておりましたので、僕の勘違いだったら御指摘いただければと思うのですが。

○畑下総合教育部長 規定ではそうなっていると思います。

○石原委員 他方の例えば地区の公民館の人事のところでも、ちょっと取り上げさせていただきましたけれども、年度替わりで今まで勤められとる方、それから来年度以降も引き続きお勤めいただける方、そのあたりの意向も含めて、部長、これ改めてでいいので、毎年度こんなことに陥るのかなと、大きな不安も抱きますので、今年度だけなのか、いやいや今までもそうだった。3月の後半に慌てて採用に向けての動きだった、それは分からないけれども、今年度今回ここまで遅れている、手続上の遅れの要因について、またの機会で結構ですので、振り返っていただいて、何かあまりにこのタイミングですので、ますます不安を抱かせると思いますが、またお聞かせください。

○中西委員 156ページ、報償費の講師謝礼ですけれども、前年度と比べると、大幅に減額になっているのですが、この理由についてお聞かせ願いたいと思います。これは先ほどの補正予算との関係があるのかなと思うので。

○畑下総合教育部長 これにつきましては、中西委員さんの御指摘のとおり、先ほどの学習支援員で計上させていただいて、大きな減額を補正のほうでさせていただきましたが、これにつきましても、昨年度は単価1,500円の3時間掛ける3人掛ける3回の42週の10か所ということで上げさせていただきましたが、今年度につきましては、計算式を少し変えました。単価は変わりませんが、単価は1,500円の2時間で、30人で20回の12か月ということで上げさせていただいております。

○中西委員 ちょっともう一回計算式を教えてくださいませんか。

○畑下総合教育部長 すいません、確かめてもう一度言いますので、しばらくお時間をください。

○中西委員 続いて、旅費のところ、普通旅費が今回、少し多くなっている理由についてお聞かせください。

○山本委員長 暫時休憩します。

午後 2時44分 休憩

午後 2時45分 再開

○山本委員長 委員会を再開いたします。

○畑下総合教育部長 こちらにつきましては、大きな減額の理由はI B教育に係る研修の旅費ですが、2年目になりますので、研修される先生方も少ないし、それに対する費用も少なくなりますので、その分減額されているということです。

○中西委員 前のところの質問は残っているんですね。

○畑下総合教育部長 これにつきましては、単価1,500円掛ける2時間掛ける30人掛ける12か月です。回数がないです。

○中西委員 これは箇所数が入るのじゃないですか。

○畑下総合教育部長 去年は箇所数を入れていたみたいですが、今回は12か月で入れております。

○中西委員 前回は、去年は三石と東鶴山でしたけど、今年はどういう地域を対象に考えておられるのでしょうか。

○畑下総合教育部長 去年からですが、全学校区は目指してはいますが、今年度につきましても、学校と相談しながら、開けるところを順次開いていきたいと思っております。一応、今伊部ですかね、ちょっと今御承知でございます。

○中西委員 この予算で何か所ぐらいが実際にはできるのですか。

○畑下総合教育部長 一応目標としては、全箇所を開く予定で予算は上げております。

○中西委員 役務費の翻訳料ですね、280万5,000円、これはどういう理由で必要なのでしょうか。

○畑下総合教育部長 すいません、ちょっと後ほど調べて報告させていただきます。

○中西委員 委託料の測量調査設計等委託料200万円上がっているのですが、これは何のためにどこで測量調査されるのでしょうか。

○杉田教育総務課長 こちらにつきましては、旧伊部保育園について伊部東区会様より地元有志による活用を希望する旨の要望書を頂いておまして、建物活用に向けての改修について検討を行うための調査設計費用を計上しております。

○中西委員 伊部区会から何に使うものとして要望が出ているのですか。

○杉田教育総務課長 要望書の中では、例えば運動コーナーを造るとか、地域食堂をする、それからボランティアハウスとして活用するとか、まあいろいろな要望が、具体例が挙がっています。

○中西委員 要望書が上がっているけど、どうして調査費をつけなければいけないんですか。

○杉田教育総務課長 御承知のとおり、旧伊部保育園につきましては、建物が老朽化しているという面があります。そういった面も含めて、建物の改修費用はどれぐらいかかるかとか、そういったことも含めて調査のほうを行いたいと思っています。

○中西委員 それは備前市が改修するのですか。

○杉田教育総務課長 現在備前市の施設でございますので、私どものほうで検討のほうをしたいと思っています。

○中西委員 あそこは、これまではもう備前市としては使わないということを前提にして残しているところだと思う。あそこを改修するとなると、測量調査設計委託料をつけなくても、もう建て壊して、新しいものを建てたほうが早いぐらいのものだと、私個人は思っている。そういう認識だから、今まで教育委員会もそれは手をつけずにきていたところだけど、事ここに至ってやったら、あれ大変なことじゃないかなと。

何で今さらになってから、伊部区会から要望書ができて、またやるのですか。

○杉田教育総務課長 私どもとしましては、地元からの要望に応えていきたいというところで、調査のほうを行いたいと思っています。

○中西委員 地元要望はたくさん出ていますから、そのように全部応えていったら大変ですよ。

○尾川委員 「備前市たんけん」という改訂版で令和7年度に小学校社会科担当教員を中心に編集作業を行うという答弁されている。それで、使用は令和8年から使用するというふうに聞いているので、その辺のちょっと詳細を教えてくださいと思うのですが。

○谷口小中一貫教育課長 令和7年度に社会科部会の先生方が中心になりまして、もう一度見直しの編集作業に入ります。7年度末までに製本にした状態まで完成を目指すということになっておりまして、それに係る経費のほうを上げさせていただくとするところです。

○尾川委員 作業はこれからですか。

○谷口小中一貫教育課長 新年度になりまして、実働が始まるというふうに思っています。

○尾川委員 前に教科書で問題になったことがある、御存じだと思うけど。今、旭東地区というか、委員会へまた備前市も入れてもらってやれるようになってくると思うけど、これは、備前市の探検ですから、備前市独自の社会科というか、小学校の先生方が集まって検討して発行するというので理解したらいいですか。

○谷口小中一貫教育課長 小学校の社会科の副読本というのが、小学校の3年生と4年生で使うものとなったりします。その小学校3年生と4年生の社会科では、自分たちが住んでいる、言ってみれば備前市のことについて学習することを通して、地域社会に対するの誇りと愛情、地域社会

の一員としての自覚を養うことを目指しているということになります。ですので、全国版の教科書では十分そこが網羅されないというところもございますので、自分たちの住む地域を網羅できる形で、社会科の副読本の編集を進めてまいるといふような次第になつていきます。

**○尾川委員** 岡山市なんか、岡山県全体のことに触れて、岡山市内のことと、岡山県全体のことに触れている。それで、冊子も別になっている。それも参考にしながら検討していただいたら、岡山市の場合は、備前焼のことが結構のページ割いて、取り組んどんです。ですから、ああいうのを見られたら、備前市とすると物すごく独自性を持ってという指摘があるのかなと思うけど、その辺やっぱり先生の数とか、旭東地区で、備前市だけで独自で生徒が減ってきて、先生が減ってくる。当然無理な相談で、その辺参考にしながらぜひいいものを作ってもらいたいと思います。

**○藪内委員** 先ほど中西委員の質問に関連してですが、要望が、市民からの要望があったということで、要望があれば、割とそういう相談にはすぐ乗っていただけるのでしょうか。

**○杉田教育総務課長** 当然、全ての要望に応えられるものではありませんので、内容に応じたことになるかと思えます。

**○藪内委員** 内容の応じたというところが非常に分かりにくいのですが、例えば日生の旧幼稚園、あそこを使いたいという方とかがおられたけれど、ほかで使いますからというお答えで、多分何年も何年も放置されていると思います。そういう対応はどのようなのでしょうか。

**○杉田教育総務課長** 可能な限りこちらのほうでは対応のほうはしていきたいと思つていますが、予算等の都合もありますので、そこらを踏まえての対応になろうかと思えます。

**○藪内委員** しつこいですが、今大体何でも予算、予算と、予算とか、急ぐ順番があるとか、でも大体のことは予算がないと、そういうお答えがあるのですが、片方の幼稚園は何の反応もなく、今こうして要望がありました、市の持ち物ですから、市がそれに対して200万円の予算をつけて対応いたしましょうと、それはどういった理由なのでしょうね。要件によりますと言われるのですが、例えば今回はどういったことでそれがかなう感じなのでしょう。

**○杉田教育総務課長** こちらにつきましては、仮称ですけど、健康なんでもハウスというような名前をつけられて、地元の方が中心になってやっていこうというところで、前向きに考えていただいていると、地域の健康づくりのために前向きに考えていただいているというところで採用しているものでございます。

**○藪内委員** これ以上言っても同じことの繰り返しになると思うのですが、でもほかのところも、やはりそれなりにいろいろな目的とか、例えば健康づくりに使いたいであるとか、ちゃんとした理由はあるのですよ。それでも片方は駄目で、片方はオーケーですとか、その違いがとにかく分からない。片方には予算がありそうだけど、片方には予算がないと、もうそこがやはり私には能力はないのか、分かりにくい。もう一回だけ何かお答えいただきたいと思う。それ以上はもうやめときます。

○杉田教育総務課長 今回の予算は、いわゆる設計委託ということで、建設するかどうかまではまだ現時点では決定しておりません。今後検討してまいりたいということでお願いしたいと思っています。

○藪内委員 まだ造る造らないの段階のことじゃないですか。例えば日生のは、もうあるんです。あったのに、いやいやと言われて、そのまま何年も放置。そこはやっぱり分かりにくい、非常に。造る造らないんじゃないですよ。使わせてあげるかどうかだけなのに、使わせないで何年も放置している。

○杉田教育総務課長 御意見のほうを持ち帰らせていただきたいと思っています。

○中西委員 藪内委員がいろいろ言われたけど、私も藪内委員の声を聞きながら思い出しました。ここは去年までリンクスというNPO法人がここにおいて、障害児の発達保育をやっていた。障害児の保育をやるところが備前市ではここだけだった、昔はね。社会福祉総務費の中を見ていただくと、障害児のところは、結構そういう意味では、この間、伸びてきたところで、ところが、そういう団体が使っていたにもかかわらず、改修はしないというのが備前市の方針だった。その後、そのリンクスはもっと条件のいい瀬戸内市へ出ていった。そういうところですよ。扱い方に差があるというふうに私はやっぱり思います。そうやってみると、これは4年に1回の選挙の年だからこういう予算が上がるのかなと思えて仕方がない。備前市の障害児の発達支援センターをつくらうというようなことまで考えていた団体が、ここを出て行ってしまったわけですから、そういう意味では私は至極残念でなりません。それは杉田課長が知らない時の話でしょうから。

○畑下総合教育部長 リンクスさんが入っていたところで、そちらのほうから瀬戸内市さんのほうに出られたということは分かっております。その後、こういう要望ができたということで今回提案をさせていただいております。

○中西委員 そういう備前市の先駆的なNPOが備前市を見限って出ていくと、本当に寂しい話だと私は思っています。

○石原委員 課長、参考までに伊部のどういった団体というか、どちらから御要望だったのでしょうか。

○杉田教育総務課長 提出していただいている方は、伊部東区会からです。

○石原委員 その御要望は、いつ御提出されたものか、後ほどでも結構ですので、何月何日どういう形でというのをお聞かせいただければと思います。

○杉田教育総務課長 提出年月日は2月10日でございます。

○石原委員 2月10日に正式な形でお出しをいただいて、我々の下へ予算書が届きましたのが、何日でしたか。12月定例会で伊部だったかどちらかの土地取得について、予算書、議案書頂いた数日前に現場と協議をして、2月10日と言われましたか。もうびっくりしました、そのスピード感。12日に頂いたのでしょうか。ちょっと啞然として言葉が出ません。

○守井委員 159ページ、教育総務費の備品購入費のスクールバスが出ております、4,262万1,000円ですが、これ何台予定しているのでしょうか。

○杉田教育総務課長 バス5台のほうの購入を予定いたしております。

○守井委員 バスって、今あっち行ったりこっち行ったりしているから、なかなかどのスクールバスかというのは分からないけども、主にはどこの路線を使われているバスですか。

○杉田教育総務課長 使っている路線につきましては、和意谷吉永小線、八塔寺吉永小線、閑谷伊里小線、三石小吉永小線、日生西小伊里小線、それから備前中新庄線になります。

○守井委員 その路線でいずれも老朽化しているという状況になっているということですか。

○杉田教育総務課長 今回の更新につきましては、車齢といいますか、登録の日から10年以上経過したもの、それから走行距離が30万キロ以上超えたものを中心に選定いたしました。両方を兼ね備えている3台につきましては、3台は一応廃車という方向で考えています。残りにつきましては、今後また予備車等で活用していきたいと考えています。

○守井委員 追加みたいなことになる。全部で何台スクールバスはあるのか。

○杉田教育総務課長 現有車両は15台になります。

○守井委員 同じくその備品購入の下の負担金補助及び交付金で、全国大会等出場補助金があると思う、30万円の補助金、これについては大体何回を予定されているのかなと思ひまして。

○杉田教育総務課長 こちらにつきましては、小学校、中学校、高等学校、全ての方の全国大会とか、中国大会の費用のものになります。令和6年度では、全国大会で3件ほど出場があったようですので、それぐらいで見込んでおります。

○守井委員 何か全国大会もたくさんあると思うけれども、いろんな会議の中で2回、3回行く場合は、1回だけしか全国大会の出場補助金の対象にならないという話を聞いているけど、その辺の制約は一応設けているのですか。具体的に分からないですか。

結局そういう話らしいので、1回だけじゃなくて、全国大会へ出場するので、中国大会と全国大会というケースで1回だけとかということになるかもしれないけど、ぜひそれも含めて、中国大会以上行ける場合は、回数制限なしにできることにしたほうが、元気が出ると思うので、検討していただけたらと思いますので、よろしく願いいたします。

○立川委員 スクールバスのところですけど、以前お話ししていました空調の効かないバス、それから故障がちなバス、これ今回、5台で全部入れ替わるという解釈でよろしいですか。

○杉田教育総務課長 今現在、先ほど御指摘のありました空調の効かない車両につきましては、一応廃車という方向で考えています。

○立川委員 ですから、一応全部そういった、物理的に走らない、走りづらいというのは全部ここで解消できるという解釈でよろしいですか。

○杉田教育総務課長 はい、そのお見込みのとおりでございます。

○立川委員 これでスクールバスの運行管理業務ということで、1億600万円ほど予算が上が

っているのですが、さっきお話がありましたスクールバスは4, 200万円で分かるけど、あとは会計年度任用職員の報酬だけですか。別途運行管理事業ということで何か上がっているのでしょうか。

○杉田教育総務課長 人件費以外にも、例えば車検の費用だとか、燃料費だとか、そういったものはこの中に入っています。

○立川委員 それを全部足したら、ざっとで6, 000万円ほどになるという解釈をしときます。

その中で、スクールバスのコントロールセンター、セクションはどこを、直接課長のところでやっておられるのですか、それともどこかあるのでしょうか。

○杉田教育総務課長 スクールバスの管理につきましては、教育総務課のほうでやっています。

○立川委員 日々の管理もやっておられるのでしょうか、直接。

○杉田教育総務課長 日々の管理というと、実際に車のほうの整備とか、そういったことでしょうか。

○立川委員 お酒飲んでいるとか、健康チェックとか。

○杉田教育総務課長 運転手の健康チェックにつきましては、管理事務所のほうでお願いしています。

○立川委員 管理事務所はどこに設置されているのでしょうか。人員とともに教えてください。

○杉田教育総務課長 備前片上駅の駅舎の中のところです。運行管理者は3名だったと思います。

○立川委員 運行管理者3名で、管理業務を行っている、直接その課が担当していますということで理解をしておきます。

運転手さんは大丈夫ですか、確保のほうは。

○杉田教育総務課長 現有の運転手さんについては、引き続きお願いできるものと考えておりますが、引き続き新しい方にも募集のほうは必要かと思っています。

○立川委員 いや、確認を取られたのでしょうか。もう4月1日からでしょう、会計年度任用ですから。引き続きしていただけるとかと思っていますというお答えだったけど、もう確認しとかないといかんのじゃないか。4月の、スクールバスですから、10日前後から動かないといけないわけ、ちらっとお聞きすると、もういいかなという人もいらっしゃるというのは聞きました。課長のほうでそういう確認をしていただいて、人員はオーケーですというお返事がいただきましたけど、どんなものなのでしょうか、ぜひ正常な運行ができるように、せっかく買ったバスが、また展示場にならないようお願いしたいと思うけど、ついでに人員の確保とバスの入る予定だけ最後に聞かせてください。

○杉田教育総務課長 人員の確保については、これからといいますか、まだ確定までいっていませんので、早めに進めたいと思っています。

バスのほうについても、なるべく早めに導入できるように努めてまいります。

○尾川委員 159ページあたりで、先ほど触れたけど、旭東地区の教科書採択協議会の負担金ということで、昨年が9万2,000円ほどあったけど、今年がどうもないような。そのあたりは採択して決まったから、当分開かんでいいということかどうか知らないけど、継続的にやっぱり教科書問題、取り組んでいくべきだと思うけど、そのあたりの考えをお聞きしたい。

○谷口小中一貫教育課長 教科書の採択替えがある年に会費のほうを徴収するというような会則になっておりまして、来年度はその年ではないので計上しておりませんということになります。

○尾川委員 特に活動状況が低調になるということはないですか。何らかでつなぎ止めというか、ある程度研究会名称で集まったりしないと、エンジンがかからないのではないかと思ったりするけど、どうですか。

○谷口小中一貫教育課長 特に支障はないかというふうに思っております。

○尾川委員 ないから、また旭東をやめたのかなと思って、勝手な解釈ばかりするけど、その点はないですね。

○谷口小中一貫教育課長 今のところそのような予定はないです。

○青山委員 一つ前に戻りますけど、立川委員の関連になりますけど、スクールバスですけど、私、一般質問でも運行に当たって、運転手さん、あるいは運行管理者の面で、あちこちにバスがあるというのは、大変な思いをして、1回は備前片上駅の管理事務所へ行って、それからまたバスのほうへ行く。また、帰ってきたら、その逆のことをやるということで、遠くから来られている人は、5時半ぐらいにバスへ行って、一旦検査をして、それから事務所へ行ってということで、かなり時間のロスが大変だということをお聞きするけど、これ今の備前片上駅へ集約するかということというのは、これは杉田課長に言っても、なかなか難しいことかもしれませんが、そういう御意見は出てないですか。

○杉田教育総務課長 運転手さんに一つ手間が加わっているというのは、事実だろうと思います。そういった面では、どういった方法がいいか、より負担のない方法というのは考えていかなければならないと思っています。

○青山委員 吉永地区でいえば、八塔寺のほうにバスを置いとられて、そこからやられているということもあって、これは以前から備前片上駅に置いてしたときも、あそこまで来ていただくのはなかなか大変ということで、特例的にやられとるということもあると思いますけど、なかなかあちこちに置かれて大変だなと。管理のほうも大変だということもお聞きしました。何かの機会に運転手とか、管理者とよく御意見を聞いていただけたらと思いますので、よろしく願います。

それともう一点、157ページ、13委託料の中に、バス運転委託料があるけど、これ前年度が9万6,000円だったものが、金額的には少ないけど、大幅アップで、106万円になっていると思いますが、この辺のバス運転手の委託、どういったところに何名委託されとんか、教え

てもらえますか。

○杉田教育総務課長 まず、バスの運転手の委託につきましては、吉永交通と日生交通にお願いしています。

運転員とそれから車両の委託につきましては、カーワークスのほうにお願いしています。

○青山委員 こういったようなところの方も、管理事務所のほうで管理という形になるのでしょうか。

○杉田教育総務課長 こちらの方については、管理事務所のほうにはお越しいただく必要はなくて、それぞれの事業所のほうで検査のほうを受けています。

○青山委員 こういう方を含めて、今のところ足りているということで、理解してよろしいか。

○杉田教育総務課長 不足分を補ってもらっているということになるかと思います。

○中西委員 翻訳料はどうでしょうか。

○畑下総合教育部長 こちらにつきましては、IB教育の関係で、学校が認定校申請するとき、認定校の要件を満たすために、確かめる訪問チームがございまして、そちらの方に翻訳料が発生するということになるための翻訳料のことでございます。1校当たり18万7,000円で15校上げております。

○中西委員 159ページの使用料及び賃借料のところ、金額は僅か1万円ですけども、駐車料が出ているんですけど、これは何でしょうか。

○杉田教育総務課長 こちらにつきましては、出張したときの駐車料金ということで、取らせていただいています。

○中西委員 今までなかったけど、今回上がったのは、何か理由があるのですか。

○杉田教育総務課長 これまで座がなかったということで、今回、付け加えさせていただきました。

○中西委員 工事請負費の施設整備工事ですけども、これは130万円、僅かなものですけども、これはどこでどのような工事をされたのでしょうか。

○杉田教育総務課長 こちらにつきましては、備前中の自立応援室につきまして、エアコンのほうの不調であるということで、改修のほうを行う予定といたしております。

○中西委員 それは中学校費に入らずに、この教育総務費に入る理由は何ですか。

○杉田教育総務課長 ちょっと私のほうでは、すぐお答えができません。ただ、小・中学校費ということで、この枠が設けられていますので、事務局費ですか、ここには入っていますので。

○中西委員 何か杉田課長の答弁、珍しい答弁を受けたのけど、この参考資料の中で42ページ、中学校工事費及び備品明細の中で、中学校工事費及び備品明細ですよ。備前中学校技術室エアコン設置工事、ここにあります。

これは暫時休憩してあげたらどうでしょう。

○山本委員長 暫時休憩します。

午後 3時25分 休憩

午後 3時43分 再開

○山本委員長 休憩前に引き続き委員会を再開いたします。

○杉田教育総務課長 先ほどの中西委員さんの御質問についてですが、こちらの工事請負費につきましては、特別支援学級と自立応援室の対象者のほうは、小・中学校ともに年度末近くまで対象者の把握が難しいという現状がございます。そのために小・中学校のいずれかにかかわらず予算執行ができるよう、この特別支援学級関係及び自立応援室関係の予算については、こちらの事務局のほうで持っているというのが現状でございます。

○中西委員 備前中の技術室のエアコンの設置工事費がこの中には入ってない。

○杉田教育総務課長 はい、こちらに含まれておりません。

○石原委員 同じページの負担金補助及び交付金で、国際バカロレア機構年会費2,123万6,000円の積算の根拠といたしますか、内容についてお聞かせいただければと思います。

○畑下総合教育部長 こちらにつきましては、シンガポールドルの計算になりますので、一応予定としましては、小学校のほうが1万2,120シンガポールドル、それを円になりますと121円掛けたものになります。これが10校で掛ける10、それから中学校のほうが1万800シンガポールドルで、これが1万122円になりますので、これが5校になりまして、これで2,123万5,500円となります。

○石原委員 2,123万6,000円を単純に15で割れば、1校当たり、小学校と中学校と違うのか分からないけど、校当たりで幾らになりますか。

○畑下総合教育部長 小学校が1校当たり146万6,520円、中学校が1校当たり131万7,600円になります。

○中西委員 シンガポールドル、日本換算で小学校121円、中学校が122円、中学校のほう1円高いけど、それで146万円と131万円では合わないのでは。

○畑下総合教育部長 申し訳ありません。2つとも122円です。

小学校のほうのシンガポールドルを間違っていました。シンガポールドルも両方とも122円です。小学校のほう1,368万2,300円、違う。すいません、ちょっと待ってください。

○中西委員 159ページの備品購入費のところ、図書が5万円上がっていますが、こういうところで図書が上がるのは珍しいですけども、これは何をお買いになられるのでしょうか。

それから、その下の情報機器50万円、学校に行くというのは、歳入のところ聞いたけど、この情報機器50万円は何でしょう。

○杉田教育総務課長 私のほうで情報機器のほうを申し上げます。こちらにつきましては、PC等の端末の購入費で、学校園のPC等の故障対応を想定して予算を組んでおります。

○中西委員 もう少し日本語に近い言葉でちょっと説明をしていただけないでしょうか。

○杉田教育総務課長 パソコン等の端末購入費になります。

○中西委員 どうしてこういうのが必要になったでしょう。台数は何台でしょうか。

○杉田教育総務課長 台数等は特に定めているわけではございませんが、故障の対応につきまして、故障対応を想定して予算のほうを組ませてもらっているというところがございます。

○中西委員 パソコンというのは故障するのは珍しいですけども、その故障対応ということは、ダブルチェックみたいな感じで、万全の体制を取るということを考えているわけですか。今までだったらそういう、それがBCPになるわけか。その言葉があったのか。そのために、もう一台、予備を置いときたいということですか。

○杉田教育総務課長 この端末のためとかというわけではございませんが、広く予備費として持っておきたいというところで、故障対応と考えています。

○中西委員 161ページの負担金補助及び交付金、ここで研修会等参加負担金というのが、昨年度から見ると3分の1ぐらいなっているの、この理由についてお聞かせ願いたいと思います。これもバカロレアに関わる場所ですか。

○畑下総合教育部長 はい、こちらワークショップの参加料、学校管理者とかコーディネーターとか中学校の教科別のワークショップの参加料の負担金が入っております。

○中西委員 入っているけど、昨年度より少なくなっているのは、昨年度実施しているから今年は少し研修会の回数が減っているということですか。

○畑下総合教育部長 異動があった方で受けられてない方とか、そういった場合に、そういった方の対象になっているので、昨年度より減っております。

○中西委員 その研修した成果とか効果はどうでしょう。これを受けると、バカロレアの教育ができるわけですか。

○畑下総合教育部長 どういった形で、IB教育、バカロレア教育を進めていったらいいかというようなことを研修していきますので、その研修を受けていただいて、学校の中でどう進めていくかっていう形になると思います。

○中西委員 となると、今年度ぐらいはそういうバカロレア教育というか、こういうバカロレアの方式で授業をやっていますよっていうのが、我々も見ることができるのでしょうか。

○畑下総合教育部長 視察等も考えていきたいと思います。

○中西委員 18の備品購入費、図書5万円が新規に出ているのけど、あまりこういう教育総務費のところでは図書が出てくるのは珍しいので、これはどういう理由でしょうか。辞書でも買われるのでしょうか。

○畑下総合教育部長 こちらにつきましては、放課後子ども教室のほうで英語教育の教育用の教材を購入できればと思って上げております。

○青山委員 161ページの先ほどあった下ですけど、19節負担金補助及び交付金、特色ある学校づくり補助金331万円、これ昨年と変わってないけど、昨年どういった特色があったのか

教えてください。

○谷口小中一貫教育課長 地域を愛する心を育む、そういう教育活動、各学校や地域の独自性とか主体性を高めて行う、そういうことを主とした教育活動となります。一例となりますが、備前焼の制作体験でしたりとか、それから地域の方との交流で、野菜作り、それから安全マップづくり、ボランティア活動、校内緑化といったようなもの、それから地域の町探検とって、それぞれの学校の学区の町探検を通じた郷土学習といったようなものが主なものとして実施されました。

○青山委員 これは各校、それぞれに充てられたのか、それとも特色とうたっているけど、どこか突出したところを選ばれたのですか。

○谷口小中一貫教育課長 各校の特色ある教育活動を進めるためのものがございます。各校からこういう活動に予算をこндаけいただきたいというような要望書を基に配分して、事業の実施に至っておるといふふうになります。

○青山委員 学校にしても生徒にしても励みになると思うけど、こういったのをどこかで披露することはやられていますか。

○谷口小中一貫教育課長 例えばという話にはなりますが、学習発表会とか、それから参観日等で学習の足跡を発表するような、そういう機会もございます。もしよろしければ、また学校のほうにもぜひ見に行っていたらと思います。

○青山委員 学校へ行っても、そういったことだけでなく、例えば「広報びぜん」とか、ホームページとか、そういったところにも載せて、地域の学校に思いを持ってもらえるようなこともやっていただけたらと思うんですけど、いかがでしょうか。

○谷口小中一貫教育課長 御提案ありがとうございます。また、各校ともそういう旨を共有していきたいなというふうに思います。

○尾川委員 地域支援、学校支援地域協議会等活動とはまた別ですか。これは基本的なことを聞いて申し訳ないですけど。

○谷口小中一貫教育課長 地域学校協働本部のほうが、御存じのとおり生涯学習課が所管の事業となっておりまして、そちらのほうは、主に地域のボランティアの方が活動されるときに発生する、そういう予算になります。当課の得色ある学校づくりのほうにつきましては、主に子供が主になって動く、そういう活動に対しての補助ということになります。

○尾川委員 先生の説明聞いてから、なるほどなと思いつつ、頭の中で整理がつかですけど。何かその辺、片上小学校だったら、備前焼なんかも、たしかこの中に入っとんですけどね。その辺のすみ分けというのが、何かちょっと混同しとるといふか、そんなことはないですか。

○谷口小中一貫教育課長 当課のものにつきましては、子供が主体で動くものになりまして、そのあたりのちゃんと区分けを、計画書するとき、各校から出される計画書を拝見するときも、チェックして配分するようにしております。

○石原委員 先ほど資料をお出しいただいて、ALTに係る費用ですけれども、これがまさしく85名の方の予算ということで。それから、先ほど畑下総合教育部長から各費目の現状の25名分の予算、御説明いただきましたけど、そこ間違いがあったらいけないので、紙でお願いをさせていただいたつもりですけれども、これももう口頭で確認できないのでしょうか。

○畑下総合教育部長 すいません、もう少しちょっと数字のほうを確認させていただきまして、また紙で提出させていただきます。

○中西委員 資料1の委託料の国際交流業務委託料のこの中をもうちょっと書いてもらえないでしょうか。何があるのか、さっきしゃべられたような。

○畑下総合教育部長 1人当たりがやっぱり370万円ほど。

○中西委員 金額のことは、概算でということになっているから、内容を、居宅とか何かいろいろあるでしょう、いろんな項目が。

○畑下総合教育部長 その内容を入れたものの資料ということですね。はい、分かりました。それも後ほど提出させていただきます。

○山本委員長 資料に対する質問はよろしいですか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

10款教育費のうちから、2項小学校費、3項中学校費、4項高等学校費を審査いたします。

○立川委員 歳入でもお尋ねしたが、162、163ページ、小学校費で学校管理費のうち、18節備品購入費8,775万2,000円、機械器具備品が584万9,000円、情報機器が8,190万3,000円、内訳と内容をお聞かせいただけたらと思います。

○杉田教育総務課長 まず、機械器具備品につきましては、学校園の机とか椅子とか事務用機材、あるいは体育とか音楽教材のほうになります。それから、情報機器につきましては、児童用GIGA端末の購入費となりまして、先ほど申し上げました内訳どおりでございます。台数については、1,187台の15%増しになります。

○立川委員 端末機が1,187台という小学校費ですね。プラスで15%ありますよということとで理解をしておきます。

これはさっき歳入のところでのお話では、備前市単独で例えば1,200台の見積りとかではなくて、何か県のほうで一斉にされるのですか。

○杉田教育総務課長 こちらにつきましては、県の共同調達で購入のほうは予定いたしております。

○立川委員 これOSは、今のは何ぼでしたっけ。10でしたっけ。

○杉田教育総務課長 現在のものはウィンドウズ10になります。

○立川委員 もう16、17ぐらいのところに来とんで、その辺よろしくお願ひします。それでも、これ使えるのでしょうか、10はまだ。サポートはまだ切れてないですよ。現在使っておられる端末はどういうふうに使われるのでしょうか、処分されるのでしょうか。それとも、生徒に

あげるのでしょうか。

○杉田教育総務課長 不用等の端末につきましては、現在は検討中ではございますが、こちらについては県の共同調達の中でのいわゆる検討事項とされています。基本につきましては、データ消去を行った後、廃棄ということになるかと思いますが、なかなかバージョンアップしてまでというのは、費用対効果の面で難しいかなと考えております。

○立川委員 周辺機器、例えば充電器や、その他はもう今回新調しないと、あるものを使うということで、端末代だけの解釈でよろしいですか。

○杉田教育総務課長 一応、一式ということで考えておりますので、周辺機器のほうも替えていくかと思えます。

○立川委員 機械器具備品がそうだったのかなと思ったけど、これは別で使われるのですね。さっきおっしゃった使用用途で。周辺機器ではないということですよ。御説明あったように、そう解釈していいですね。机とか。

○杉田教育総務課長 周辺機器がどこまでかというのは、ちょっと私も把握はしてないのですが、それも含めての話になるかと思えます。

○守井委員 これは今さっき聞いたが、当初予算の参考資料で、小学校の分のいろんな授業の分が、金額はトータルで出ているのですが、それぞれの小学校の区分けが出てないけども、これはどこに幾ら行くかというのが分からないからというような書き方のためにばらばらにしているのか。トータルだけ書いていると思うが、各学校別が白紙になっているという、その話です。

○杉田教育総務課長 こちらにつきましては、各学校からの要望を受けての内容になります。多岐にわたっておりまして、なかなか細かく書くのはどうかというところで、今回は省かせていただきました。

各学校の要望の中身については、例えば金庫、倉庫、車、机とか椅子とか、いろいろ要望が出ています。そういったものが入ってこようかと思えます。

○守井委員 その次の教育振興費の需用費の消耗品ですが、これはランドセルに該当すると思っておりますけれども、昨年より金額は減額になってはいますが、ポイント付与は来年度はやらないということを知っていますけれども、非常に金額が減っているのは、台数が減っているという考え方でいいのでしょうか、対象生徒数が減ったということで。

○杉田教育総務課長 教育振興費の需用費の消耗品につきましては、こちらは学用品費の無償化に関わる部分になります。

○守井委員 学用品のほうか。

○杉田教育総務課長 はい。単価につきましては、1人当たり1万2,300円ということになります。

○尾川委員 ALTの資料をいただいたのに、75人と聞いていたが、違うかどうか知らん。1人当たりの報酬、期末勤勉手当は別にして、報酬1人当たりで約318万円ほどになると思うけ

ど、その辺の高さというか、給与水準というのほどのように考えられれているのか。

○畑下総合教育部長 今出している資料では、これ85人です。85人です、その報酬。

○尾川委員 85で割ったのか。

○畑下総合教育部長 はい。

○尾川委員 281万円になるけど、それはどんな感じに捉えたらいいのか。

○畑下総合教育部長 それが1人当たりの報酬の。

○尾川委員 時給がきっちり採用できるのかなと思って。安いのか高いのか、よくレート分からないけど、そのくらいの金額だったら、どんなかなと思って。

○畑下総合教育部長 市の会計年度に合わせた形で計上しております。

○尾川委員 国際交流業務委託料、聞こえがいい名前だけど、要はあっせん料だと思っているけど、これ1人当たり334万円ぐらいになる。そういうのは、普通の相場と理解したらいいか。直接採用するということじゃない。直接採用するのが、補助金、交付税措置されるということ、メリットがあるということで直接にしたのだろうけど、その辺の手数料、直接でも間接でも、いろいろあっせん料、あっせん料と言うと言葉が悪いけど、そういう費用はかかると思う。その辺コスト的にどうなのか。そういう計算はされたのか、補助金があるからということで、こういう方法を取ったのかということをお聞きしたい。

○畑下総合教育部長 そのあたりも、この委託料につきましては、プロポーザル等をかけてそういう数字で本来いけるのかどうかというのも比較等はできると思いますので、そういう形で出させていただこうと思っています。

○中西委員 161ページの委託料の工事設計監理委託料、200ほど出ているけど、これは何でしょうか。

○杉田教育総務課長 香登小学校のプールの解体設計委託料になります。

○中西委員 香登小学校のプールの解体の設計の委託料ですけど、これは何でそういう予算をつけないといけないのですか。

○杉田教育総務課長 香登小学校のプールにつきましては、設備の老朽化が進んでいることに加えまして、漏水により使用に耐えない状態であることから、解体についての設計を委託することになります。

○中西委員 市内の小中学校で老朽化のため使っていないプールというのは幾つぐらいあるのか。

○杉田教育総務課長 片上小学校、石小学校、日生西・東小学校、備前中はございません。それから、伊里中学校は伊里小学校のプールを使っているのと、日生中学校もありません。吉永中学校も使っていません。

○中西委員 吉永中学校も使っていない。

○杉田教育総務課長 はい。

○中西委員 日生の中学。

○杉田教育総務課長 ありません。

○中西委員 もともとがないん。

○杉田教育総務課長 もともとありません。

○中西委員 つまり、6つの学校でこういう老朽化して使っていないところがありながら、どうして香登が最初に選ばれるのでしょうか。これはさっきのお話だと、誰からか要望があったということなのでしょうか。

○杉田教育総務課長 香登小学校につきましては、漏水しているというところが一番大きい点かと思えます。それで、周りの自宅に御迷惑をかけても困りますし、そういったことを考えてのお話になります。

○中西委員 漏水があるのなら水を入れなければいいだけの話じゃないですか。無駄な漏水があるのを分かっている、プールなんかには水入れる人はいないですよ。

○杉田教育総務課長 香登小学校のプールにつきましては、現在、移転の話もございますので、そういった面も含めてのお話になろうかと思えます。

○中西委員 やっぱり移転の話が前提にあつてのこの工事設計監理委託料なわけですね。それがなければ、ここが第一に上がるわけではないですよ。

○杉田教育総務課長 いろんな要素がございますが、そういった面も含めての話になろうかと思えます。

○中西委員 よくこれで3つの候補地のうちの一つ、プールが消えていくというのがよく分かりました。討論で使わせていただきたいと思えます。

同じ委託料の電算システム改修委託料、これちょっと金額が張っていましたので、どういう理由かお聞かせ願いたいと思えます。

○杉田教育総務課長 こちらの電算システム改修委託料につきましては、小学校の情報ネットワークを改修する費用として計上しております。その目的は、通信ネットワーク環境の改善、通信速度を上げて学校園でタブレット等を快適に利用できるようにすることになります。そのため、ローカルブレイクアウトというインターネットの接続方法の見直しにより、これまでの各学校から市役所本庁のサーバーを経由してインターネット通信をつなげるやり方を変更しまして、各学校から直接インターネットに接続とかできるよう、各学校の設備改修を行うものです。改修費用には、各学校への引込線の整備、ネットワーク機器の整備等も含まれております。

○石原委員 160ページ、小学校費の学校管理費で、一番上の会計年度任用職員の報酬2, 242万円、こちらの職員、どういった業務をなさる方でしょうか。

○杉田教育総務課長 こちらにつきましては、各学校の用務員さんの人件費、会計年度職員の人件費になります。

○石原委員 先ほど教育総務費、事務局費の中でそういったところも含めてやり取りさせていただきましたけれども、中学校のほうも用務員については162、163ページですけれども。

○杉田教育総務課長 お見込みのとおりでございます。

○石原委員 小学校の用務員と中学校の用務員、小学校費の中では、10名かなと、それから中学校費の用務員ば、こちら5名、お一人の報酬でいえば、かなり違う。中学校費は用務員だけの報酬になるわけですか。

○杉田教育総務課長 こちらは用務員さんだけの予算になります。

○石原委員 小学校も用務員だけ。

○杉田教育総務課長 お見込みのとおりです。

○石原委員 高等学校費の報酬は、どういった業務をされる方でしょうか。

○杉田教育総務課長 高等学校費の会計年度任用職員につきましては、養護教員が1名、事務補助員が1名、講師4名となっています。

○石原委員 中学校費の用務員は、先ほどあったような高等学校費、小学校費等とも比べても、用務員5人で1,983万9,000円と、かなり好待遇だなと、中学校費は。

○谷口小中一貫教育課長 中学校費のほうでございますが、この中に教育支援センターあゆみの指導員の方、それから生徒指導の支援員の方の報酬のほうも含まれております。

○石原委員 先ほども触れましたけど、小・中学校の用務員についても、来年度に向けてはまだ先ほどあった部長のお答えのとおり、これから確保に向けてという動きになるということでしょうか。

○杉田教育総務課長 こちらについても早急に進めてまいります。

○中西委員 163ページの教育振興費の報償費、アドバイザー謝礼200万円組まれているのですが、これはどういうふうに使われるのでしょうか。

○杉田教育総務課長 こちらにつきましては、教職員の先生方の研修用の講師謝礼となります。10の小学校のほうで、それぞれでどういったことを、研修のほうをしていただくということで予算のほうを取ります。

○中西委員 昨年度はなかったと思うけど、これは上がってきたのはどういう理由から上がっているのでしょうか。

○杉田教育総務課長 授業改善に関しての予算のほうを今回つけさせていただいております。各学校のほうで、ある程度裁量を持っていただいて、研修等を進めてもらいたいということで、予算づけしております。

○中西委員 その下の普通旅費150万円、これはなかなか旅費としては立派な旅費がついているけど、これはどうしてでしょうか。

○杉田教育総務課長 理由としては同じですけども、教職員の先生方に研修等を積極的に積んでいただきたいということで、10校当たりの金額で予算のほうを組んでおります。

○中西委員 役務費のところ通信運搬費、56万6,000円、昨年が41万3,000円ですから、心持ち下がっているけど、この通信運搬費が上がっている中で、下がっているというの

は、実績を見越してこういう金額になっているのかどうなのか、大丈夫なのかお聞かせ願いたいと思います。

○杉田教育総務課長 基本的には昨年度とそれほど大きな差はないとは思いますが、通信回線の使用料ということで、こちらのほうを予算づけしております。

○中西委員 委託料で、職員研修委託料、200万円ここでまた上がっているけど、この理由についてお聞かせ願いたいと思います。

○杉田教育総務課長 こちらのほうも、いわゆる授業改善に資するための予算づけといたしておりますまして、各学校10校でこの200万円という予算のほうを使っていただくということで、予算づけしております。

○中西委員 計算式とすれば、20万円掛ける10ですか。

○杉田教育総務課長 当然、学校ごとに教職員の数違いますし、そういった面を考慮しておりますけど、計算式としてはそういった形になっております。

○中西委員 19の負担金補助及び交付金の中で、昨年度は重度障害者の通学補助があったけども、これは対象者がいなくなったということでしょうか。

○谷口小中一貫教育課長 中学校費のほうでお願いをしております。

○中西委員 166ページの11の需用費、光熱水費ですけども、昨年から見ますと、8万円ほど減っているわけですけど、これも実績で見ているということでしょうか。光熱水費もちょっと上がっていて、各家庭では何か悲鳴が上がるぐらいですけど、いかがでしょうか。

○杉田教育総務課長 昨年度並みで段取りいたしております。

○中西委員 昨年並みでこの電気代なんか上がっているけど、大丈夫でしょうか。昨年より減っているけど。

ここの光熱水費は、昨年から見ると今年は値上がりするだろうと、我が家の電気料金なんか見ても大変高いので。ところが、昨年の予算は3万8,972円だった。今年は3万6,244円で、8万円ほど下がっている。ここの光熱水費は上がっていてもおかしくはないですけども、こんなに下がって大丈夫でしょうか。

○杉田教育総務課長 上がっていると思います。

今年度3,046万1,000円で、6年度が2,880万9,000円だと思います。総務課分だけ取れば、そういう形になります。

○尾川委員 デジタル教科書についての動向、どういう予算に生かされておるかなど、どの程度で備前市とすれば、何か答弁は適当なことを答えてくださったけど、どういうふうに現場的には、先生らはお考えなんかなと思って。

○谷口小中一貫教育課長 子供が使う用のデジタル教科書につきましては、先般の定例会でもお答えしたような、英語とか、それから数学、算数のあたり、ここが国のものと、それから市のものと合わせて子供たちが使えるように今やっています。まだちょっと過渡期なところもあります。

て、活用についてはまだこれから研究を重ねてまいらないといけないなという段階でございます。

先生用の、教師用のデジタル教科書につきましては、今回、教師用の指導書のほうで中学校では予算の計上をさせていただいております。小学校については、令和6年度の予算で購入をさせていただきました。ありがとうございます。

**○尾川委員** 読売新聞が、デジタル教科書のことについて、物すごく記事を割いて、時間をかけて報道されている。正しいと思って、信用して記事を読ませてもらうけど、それから、やっぱり先生が画一的になって、生徒とのやり取りというのが薄くなるということ、そういう懸念もあるということ。ですから、同じような子供ばかりそろそろんならいいけど、いろんな個性の強いのを持っとったら、それに対しての対応が遅れてくるという指摘もされとる、その辺のことについて、今先生が聞かれとって。それと、教科書代というのはどうなるのですか。市が負担、デジタル教科書かどっちか選択になったら、ペーパーになったらペーパーだけだとか、国はペーパーを出さないようになってくるのじゃないかなと思って、そういう心配しているけど、勝手に。そのあたりはもうデジタルで行くと、国が決めてしまう、両方には出さないよというふうな、入学式ときには、国から頂いた教科書ですって、いつも校長先生がお話しされて、そうじゃなと思って、こうするけど、その辺はどうですか。

**○谷口小中一貫教育課長** ちょっとそのあたりは、また動向を確認しながら進めてまいりたいなというふうに思います。

**○尾川委員** 市とすれば、選択するとなると、どういうふうに、検討することでしょうけど、どういうふうに先生だったらお考えなんかなと思って。

**○谷口小中一貫教育課長** まだ現段階では、断片的な情報しか出てきてないというところもございます。我々事務局の者も含めまして、先生方とちょっと研修を重ねて、子供たちにとってのベストな選択はどうか、紙とデジタルの融合というところも含めて、今後の在り方っていうところは検討してまいりたいというふうに考えております。

**○尾川委員** 交付税されとんかどうかわかんですけど、結局今は市が購入しとるわけですね、市負担ということで、デジタル教科書は。

**○谷口小中一貫教育課長** 教師用、先生が使う用のデジタル教科書につきましては、市費で購入をさせていただいておりますが、小学校のほうです。中学校のほうは今回お願いをしておるところです。子供が使うものについては、数学、算数と英語について、国からも幾らかと、それから市からも足らずのところというところでカバーをしておるところでございます。

**○中西委員** 165ページの工事請負費、施設整備工事、これは参考資料で見ますと、備前中学、伊里中学、三石中学のそれぞれ技術室、美術室となっているのですけども、日生、吉永については、こういった技術、美術ではエアコンは入っているのでしょうか。

**○杉田教育総務課長** 今回につきましては、この3中学校のほうで工事をするということでござ

います。まだまだ順番に来ているのを進めてまいりたいと思っています。

○中西委員 日生、吉永がまだ残っていると、残っているのは美術室、技術室、どういうところが残っているのでしょうか。

○杉田教育総務課長 残っているのは、特別教室のほうになるかと思います。

○中西委員 備前中、伊里中、三石中でも、まだそういう特別教室というのは残っているところがあると。

○杉田教育総務課長 申し訳ないです。全ての教室の状態について、ちょっと今、手元に資料がないのでお答えができませんが、順次整備のほうを進めてまいりたいと思っています。

○立川委員 中学校費でさっき設備、施設の整備工事が出とって見させてもらったけど、例えば、日生中の雨漏りとか、それが出てないけど、どういうふうにお考えなのか。あそこへ行ったら、廊下、バケツ受けていました。また、補正に出てくるのですか。

○杉田教育総務課長 日生中学校の雨漏りの件、私のほうも把握しております。こちらについても順次、修繕のほうを行ってまいりたいと思っています。

○立川委員 今、日生の例を言いましたけど、日生だけじゃなくて、三石が10年ぐらい雨漏りほっとかれましたよね。部長にお伺いしておきますが、そういったところの施設整備は、ワンクール、10年ぐらいで考えたらいいですか。それとも、設備の改修はどういうふうにお考えなのか、お聞かせいただきたい。この前は片上小学校ありましたけど、お考えを。

○畑下総合教育部長 それぞれの状況を把握し、計画を立てながら改修を行っていききたいと思います。

○立川委員 計画を立てながらということで、課長さっき日生中学に限っては、認識をしておりますと、どんな計画かお聞かせいただけたらと思います。

○杉田教育総務課長 現時点でいつまでにというふうにはちょっとお答えできないのですが、優先事項として捉えております。

○立川委員 無計画というのが大変よく分かりました。タイムスケジュールといいですか、必ず立ててくださいよ、部長。現場行ってみられたらどうですか。部長行かれましたか。課長は存じ上げとるみたいですが、いかがですか。

○畑下総合教育部長 現在はちょっと行っておりませんが、現場の確認してまいりたいと思います。

○立川委員 そうということが計画的に、前からお願いしていますように、お願いですから、年に1回か2回は現地を見てください。小学校が10校、中学校が5校でしょう。1年に1校ずつ行っても行けるじゃないですか。というお願いをしときます。それで、必ず計画を立ててください。

○藪内委員 今、日生中学校が出たので、それに関連して、中学校のグラウンド、これもびちゃびちゃですけど、いつもびちゃびちゃで、この間、部長も一緒に見ていただいたと思うけど、

これに関して何かあれば。

○杉田教育総務課長 当日、私のほうも同席させていただきました。グラウンドの状態がなかなか雨上がりから日数がたっても乾かないということは把握させていただきました。どういった工事、場所が埋立地ということもありまして、どういった工事をすれば、あそこがよくなるのかというのは難しい面はあろうかと思いますが、調査等行っていく必要があるのかなと思っております。

○藪内委員 難しいと言いながら、もうこれ何年も何年も前からのことで、備前中とかのグラウンドを直すときにも、それ以前にも上がっていたことで、いかげん考えも過ぎたんじゃないかなと思うが、どんなでしょうか。

○杉田教育総務課長 いわゆる要望事項として承っておきます。

○藪内委員 ずっと学校からも言われていると思う。そして、先日も一緒に日生中へ行ったときに、雨漏りのことも聞いたと思う、さっき立川委員が言われたように。ちょっと優先順位とか、計画を立ててと言いますが、何年も経過していることで、その辺は、例えば2日、10日ぐらいでなることもあれば、こういうふうに何年たってもならないことがある。この辺のバランスが私には理解できない。

○杉田教育総務課長 御期待に応えるよう努めてまいります。申し訳ありません。

○青山委員 167ページの中学校費の教育振興費、18節の備品購入費、図書ですけど、去年は2万円出ていたけど、今回は201万6,000円、この増額について教えてください。

○杉田教育総務課長 図書については、今年度201万6,000円、前年度202万1,000円ではなかったかと思うのですが。

○青山委員 間違い。失礼しました。

その下の20節扶助費、特別支援教育就学奨励費114万5,000円、去年が70万9,000円、増額になっているけど、これについて教えてください。

○杉田教育総務課長 こちらにつきましては、前年と比べまして、対象者のほうが増えたということで、この金額になっております。

○青山委員 これも先ほどありましたけど、小学校から中学校へ進学されたと捉えればよろしいですか。新たにそういう事例が出たということですか。

○杉田教育総務課長 こちらにつきましては、令和6年度が35人の見込みであったものが、令和7年度が41人の見込みをしているということで、増額となっております。

○青山委員 6名ほど増加という見込み、その辺どういう見込みのつけ方なのかを教えてください。

○杉田教育総務課長 学年が一つずつ上がっていきますので、そういった形で卒業する方と入学する方という感じで、人数のほうは変わっていくというふうに思っています。

○青山委員 169ページ、高等学校費、教育振興費の19節負担金補助及び交付金、部活動補

助金2万円が出ているけど、これ片上高校で今どんな種目をやられているのか、入部率はどのくらい分かりますか。

○谷口小中一貫教育課長 申し訳ございません。ちょっと手持ちの資料に今ございません。

○青山委員 また教えてください。

○森本委員 高等学校費の2目の高等学校管理費の中で、需用費で賄い材料費が去年上がっていて、今回、同じ金額で電子ポイント取扱い助成金というのが、負担金補助及び交付金で上がっているのですが、これ関係があるのでしょうか。

○杉田教育総務課長 お見込みのとおり、賄い費のほうがこの電子ポイント助成金のほうに振り替えてございます。こちらのほう片上高校の給食費で、軽食及び弁当の付与となります。

○森本委員 もう少し事業内容的に教えていただいてもいいですか。

○杉田教育総務課長 失礼しました。こちらのほうですけれども、現在は希望者からパンと牛乳を週3日、それからお弁当を週2日支給しております、生徒からはあらかじめ注文を取って用意しておりますが、欠席等の連絡のないことによる食品ロスが発生しているという問題がございます。この食品ロスの問題に対しまして、給食費相当分をびぜんポイントで付与しようとするものですが、実施に当たっては、学校関係者と協議の上、取り組んでまいりたいと考えております。

○畑下総合教育部長 国際バカロレアの会費の計算の件、いいですか。

10校が小学校、5校が中学校と言いましたけど、これにつきましては、全部で15校ある中で、割引がございまして、今、単価が121円で計算しましたら、普通でしたら1校当たり163万3,500円かかります。それが10校までの申請になりますと、その0.9の申請額となり、10校までは147万1500円、これが10校です。それと、追加でまた5校追加になりますと、今度0.8の割引がかかり、130万6,800円、1校です、それが5校になります。それで、合計すると、2,123万5,500円になりまして、予算計上になります。

○石原委員 ドルのレートにもよるかも分からないですが、いつ頃、会費としてお支払いされるのか分かりませんが、令和5年度の決算を見ますと、この年会費が1,965万円余りと。それからたくさんの学校で加盟をされたら、割引のようなお話も以前お聞きして、多分この令和5年度割引対応が出てから、そのあたり一体全体どういう根拠なのかということで、ありがとうございました。当初予算段階では、この金額2,123万6,000円ですよということで、内訳については先ほどの。

○山本委員長 次に進んでよろしいでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

10款教育費、6項社会教育費、保健体育費、諸支出金、予備費まで、最後まで一括で審査いたします。

○中西委員 185ページの備品購入費、調理場備品、これは参考資料の43ページに備品は何を買うのかが載っているわけですけれども、去年の痛い教訓ですね、食洗機が途中で壊れたと、大

変現場は困ったということですが、そういうものが壊れて困ったということにならないように、備品としてはこれで十分対応できる、故障がないと、もう本当は買い換えたほうがいいけどなどというようなものがないのかどうなのか、そのことについて確認をしておきたいと思います。

○杉田教育総務課長 備品につきましては、これで十分というのは、なかなか申し上げにくいところかと思えます。ただ、優先順位を考えながら、こういった費目のほうを上げて計画のほうを立てております。

○中西委員 教育委員会の総務費、事務局費の中では、BCPを考えてコンピューターを1台買っておくと、いわゆる予備の一つ、確保しておくということですが、こういうところは、1つ壊れると、それが後にすごく影響が出てしまうというところがあるので、ぜひそこは早め早めに対応してあげていただきたいと思えます。

○守井委員 学校給食費、183ページの需用費、賄い材料費が1億3,000万円、1億4,000万円ほどで、このあたりの値上がりの度合いをどのくらい見とられるのか。

○杉田教育総務課長 なかなか見込みが立てにくい現状かと思えます。単価につきましては、先ほど申し上げたとおり、それぞれ小・中学校、増額しています。それと、その金額から換算して、こういった約1割増の見込みを立てておるところでございます。

○守井委員 お米とか、野菜とか、肉とか、いろいろ物によって上げ幅も違うと思うけども、大体一律で何割とか何%ぐらいということで予算計上されていますか。

○杉田教育総務課長 学校給食会のほうから出されている数値でもございますので、そういったものも参考にしながら計算しております。

○山本委員長 ほかに質疑はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

次に、第3表債務負担行為に入ります。予算書は8ページ、9ページをお開きください。

質疑のある方の発言を許可いたします。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

最後に、全体で質疑漏れはありませんか。

○尾川委員 谷口課長にお聞きしたいが、いろいろ見ていて、例えばまなび塾について言えば、生涯学習課ですよ。それから、備前市文学賞で、これも学校の先生に負担かけるというのがどうかというのもあるけど、これは文化スポーツ部か、それから購入計画、今日も何か書類もらっている、外国との留学というか、研修で比較ということから、何が言いたいかというのは、教育委員会の範疇というのが、少し異なってきたら、そういう面で何らかの委員会とか、そういう打合せ会には、教育委員会の立場として、学校関係、先生方は参加されと思うけど、私は教育委員会に生涯学習とか、図書館にしてもしかりと思うけど、現場的に谷口課長が答えたというたら、当たり障りがあるでしょうけど、この4月で組織替えという考えはないですか。

○谷口小中一貫教育課長 学社連携・学社融合という言葉がございます。学校教育と社会教育の

連携・融合というところは、これまでもやはり進めていかないといけないというものの、教育課題の一つであるというふうな認識を持っております。ちょっと機構改革のことは、私からは申し上げる立場にはないのですが、同じ5階のフロアに生涯学習課、文化スポーツ課等ございますので、必要に応じてそこは連携を取りながら進めてまいれたらなというふうに思っております。

○尾川委員 チャンスがあればそういう提案は、いろんな面での学校教育、子供たちが学ぶという面からすると、ちょっと中心から外れると思ったりするので、個人的な意見ですけど、指摘させてもらっておきます。

○中西委員 先日、えびす駅伝の開会式に出席してまいりました。もう少し備前市内の子供たちがああいふところへ参加できないかどうか、あるいは谷三三五の記録会も、ちょっとここ一、二年、私は参加してないけども、かつて参加したときを見ると、備前市内の小・中の子供たちの参加は、あまり各学校でちょっと差があるような感じもしなくはなかったけど、もう少し学校、公教育の中で参加を促すことは、どうなのかなというような、もう少しあってもいいのかな。岡山市内とか、ほかのところは元気よくたくさん来て走っている。例えばそういうところへ参加するときには、バス代ぐらいは出してあげようとか、少し参加を促すような取組は、もう少しあってもいいのかなという感じを受けたけども、先生いかがでしょうか。

○畑下総合教育部長 そのあたりも、スポーツとかの関係の大会とかでありますので、そちらにつきましても、ぜひ市内の子供たち等の参加をしていただくように御協力していきたいなと思っています。

○中西委員 市外からの子供たちは結構多いですね。やっぱし市内の小・中、せっかく備前市で開かれて、備前市のいいグラウンドで競技をし、環境のところでやっているわけで、ぜひ教育委員会としても、何か一度御検討をお願いしたいと思います。

○谷口小中一貫教育課長 先ほど青山委員の169ページ、片上高等学校の部活動補助金の関係の質問についてお答えいたします。

2万円という限られた予算の中ですので、毎年計画的にどの部活にどういうものを買おうかということも高校のほうでも検討されているということになります。ちなみにですが、令和6年度はバスケットボール部のほうで、バスケットボール等の用具に活用させていただいたというふうに聞いております。

○青山委員 私、片上高校の参観日ですか、行かせてもらうけど、部活の状況、そういうのに立ち会う機会がなかったの、これ補助金としてバスケットボール部ということですけど、どういう種目がなされているのかとか、入部率はどのくらいなのかということ、分かれば、また別途で教えていただきたいと思います。

○山本委員長 以上、よろしいですか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

ないようですので、以上で議案第2号中、総合教育部関係の審査を終わります。

観光船の審査をしますので説明員入替えのため、暫時休憩します。

午後 5時02分 休憩

午後 5時17分 再開

○山本委員長 休憩前に引き続き委員会を再開します。

次に、議案第2号中、観光船待合所等整備事業、観光船棧橋整備工事関係の審査を行います。  
執行部より補足の御説明を願います。

○出射交通政策課長 まず、本日は皆様お疲れのところ貴重なお時間をいただきましてありがとうございます。  
ございます。

先日の委員会におきまして、市内4か所に設置する棧橋の維持管理経費ですとか、港湾の使用料についての御質問をいただいておりますが、十分な説明ができておりませんでしたので、御説明させていただきます。

まず、浮き棧橋の維持管理でございますが、波や係留の回数によって連結ボルトというのが摩耗していくということで、そのボルトの摩耗状況の確認を定期的に行う必要がございます。必要に応じてボルトの交換というのが発生してきます。交換の頻度は通常であれば2年に1回程度で済むと認識しております。そして、初年度は保守管理が含まれておりますので、令和7年度の予算計上は想定しておりません。

また、棧橋を県管理の港湾に設置するに当たりましては、1平方メートル当たり105円の水城占用料と2万5,000円の事務手数料が必要になってきます。現在考えている棧橋の大きさ約120平米で計算しますと、年間占用料が1万2,600円、それと手数料を合わせたら、1か所当たりが3万7,600円の占用料となる見込みでございます。

こちらにつきましては、県との調整が済み次第、所管の委員会での御報告はもちろんのこと、議会へ予算の計上もお願いしたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。

補足説明は以上になります。

○山本委員長 それでは、質疑がある方の発言を許可いたします。

○守井委員 4か所に棧橋を設置するというところで、部長は何か日生港から出て赤穂のほうと、できれば犬島まで、それから牛窓に寄るという計画であったと聞いているけども、そのあたりの棧橋は片上港、久々井、伊里港に寄らなければならないということに計画が多少変わってきたと、有効利用を図る上には、そのようなことも考えられるのかなという感じで動きが起きたということだと思うけども、そのあたりに対しての必要性、それから市民に対する効果、せっかく造った北前船の有効な活用とかから必要じゃないかということが発信されたんじゃないかと思うけども、そのあたりに対して、先ほどその船がそこに着けるための条件的には県の港湾だから、県の許可も要るし、それから実際にその船が着けられるかどうかのあたりとか、いろんな情報なり、検討なり、そういう調査なり、あるいは効果なりはどのようなことを検討されて、これを計画されて予算づけされたか、お聞きしたい。

○出射交通政策課長 4か所の必要性につきましては、前回も御説明させていただいたかと思いますが、市内の港湾、港というのは、日生だけでなく、久々井、片上、伊里、鶴海にもございます。そういったところから、地元の人たちが出港できて、日生まで行かなくても、そこから乗れるというところで、地元のほうの方に、いろいろ北前船を知っていただくためにも、そういった身近なところから乗り降りできるということが有効ではないかというところで、今回こちらのほうの棧橋の設置を検討させていただいております。

○守井委員 実際的にその船がそれぞれの港に着く、深さとか、そういうものは十分あるのか。この棧橋を設置することによって、停泊ができるような形にはなるのですか。水深の関係は分からないから何とも言えないのですが、そのあたりは大丈夫ですか。

○出射交通政策課長 こちら予算計上するに当たりまして、棧橋の設置を業者のほうに見ていただいております。船がこちらのほうで止められるというようなことでの見解はいただいております。

○中西委員 何の御説明かと思いますが、何ともはや私の質疑に対する御答弁を勉強してきていただいて、大変ありがとうございました。私は何もしゃべる予定はなかったけど、今御説明いただいた文章を、文書で配付をしていただければと思います。

お願いしてもらえませんか。

○山本委員長 先ほどの発言のペーパーは出されますか。最初に説明した分でしょう。

○出射交通政策課長 最初の説明のものということであれば、ペーパーを提供させていただきます。

○藪内委員 日生以外に4つの港ということで、大体どれぐらいの乗船とか乗降があるとお考えでしょうか。

○出射交通政策課長 船の定員が乗務員を含めて47名の定員になっています。座席のほうで19名座れるように造っておりますので、基本的にはその19人ぐらいのクルーズを考えておりますので、1回についてそれぐらいの人数を考えております。

○藪内委員 そうでなくて、例えば久々井なら久々井の港から1日でも一月でもいいですから、そういう単位でどれぐらい乗降客の方が見込み、よく分からないとは思いますが。

○出射交通政策課長 実際運航してみて、それぞれの港でどれぐらいかというのは、ちょっとまだ実際のところを見てみないと分からないところではあります。全体的な乗船については、先ほど申し上げたとおりになります。

○藪内委員 課長おっしゃるとおり、分からないとは思いますが。でも、いろいろコストもかかるので、例えば極端な話、1人が2人しか乗らないのに、さあそれ造っていいものかみたいな、その辺どういう見込みかなと思ってお聞きしただけです。

○石原委員 まだ船の完成が半年後、早くてもそれぐらい、分からないけれども、しばらく日生へ停泊されて、それからいざ運航ということで、細やかな運航計画、まだでしょうけれども、こ

の4つの港へ浮き桟橋を造られて、それからトイレ等も整備をされてという、待合スペースということで、それをお聞きしますと、僕はてっきり日生から乗降されて、インバウンド、外国の方も含め、それから大都市圏や、万博のようなこともおっしゃっていましたが、そういった方が来られて、いずれかの場所、周遊される船かなと思っていました。ここでの桟橋の構想なり、お考えをお聞きしていますと、そういう日生をメインに出港場所として、発着場所とした、そういった外部からのお客様をお乗せして運航される日と、専ら地元の方を、備前市内のそういった鶴海、久々井、片上、伊里地区の方向への船が言わば空で出港して、出発して、ぐるっと回りながら、いずれに向かうか分からないですけど、そういう設定ですか、日によってということイメージしとったらいですか。

**○出射交通政策課長** 明確な線引きというのができるかどうかは、利用の仕方にもよってくると思う。一応インバウンドですとか、そういったところ向けのちょっと長いクルージングと、地元の方とか、市内に限らず、近場の方とかに気軽に利用していただけるような、短時間の遊覧のようなものとの2段階で想定はしております。

**○松本委員** 牛窓とか1周回するのに、費用はどれぐらい要と考えていますか。例えばよそのこういうタイプがあるかどうか知りませんが、運賃がどれぐらいだとか、調べたものがあれば、教えてください。

**○濱山市長公室長** 運賃設定については、今後の検討としております。

**○松本委員** 今後の検討はいいけど、私は1,000円以上取ったら、お客は来ないと思う。少なくとも1,000円以下ならその可能性がある。これ2,000円、3,000円なんか取ったら、私はこの周辺の住民はほとんど乗らないと思う。外の人は乗るかも分からない。私はそういう感じがします。

それともう一つ、別にあの船が伊里、片上、さっき4か所を回ったからといって、それがどうしたという感じじゃないかな。あの船が珍しくて、最初はこれかと、もう回り出したら、本当別に珍しいことも何もない。日生でNORINAHALLEという定期船に帆がついた、私はそういうイメージしかないし、実際のイメージ図を見たときに、単なる19トンの船だと。19トンというのは、それ以上乗ったら、船員が2人要るとか、いろんな制限が来るから19トンに抑えとると思う。だから、NORINAHALLEをイメージした船が防波堤、動くわけじゃなく、エンジンで動いて、あれがこの片上湾を回ったからといって、何か地域の住民も乗ってみようかとか、そういう意欲はあまり湧かないと思う、ましてや料金が2,000円も3,000円もしたら、私は限界があると感じます。

**○濱山市長公室長** 今後の検討と言ったのは、先ほど出射課長が申し上げましたとおりに、こういった運航計画を持ってするかということで、料金設定も変わってくると思う。冒頭、出射課長も言ったように、日生イコール海というイメージがあるけども、海、今回予定の4地区にも海が面しているということで、停泊寄港地として整備をしたい、新たな拠点地域を創出したいって

う意味で整備をさせていただきたいと思います。

○**青山委員** 2点お聞きしたいけど、1つは運賃の話が出ていますけど、もともと富裕層を対象にして、内装もかなりかけて、見栄えもいいのを造られたと思う。今、松本委員から、1,000円以内じゃないとなかなか乗らないよという話ですけど、それじゃ富裕層をターゲットにした意味があるのかなとかと思います。

それから、栈橋があるということは、そこへ下りるということで、下りてから例えばあちこちへ運んでくれるタクシーのようなものがあるのか、あるいはバスの路線があるのか、そういう現実的なことを考えたときに、例えば極端な話、栈橋を造らなくて、そういったところに行って、帰るということにして、それぞれの湾から見た景色であるとか、周遊するというところで、考えたほうがいいのかと思うけど、その点についてはいかがですか。

○**出射交通政策課長** インバウンドですとか、外向けの場合、クルーズだけ単品と言うよりは、ツアーの中に組み込まれて、その中でいろんなところを巡る中で、船でゆったり過ごしていただくというようなことが考えられるかなと思っています。今言われた近場の方との差別化としては、簡単なものでございますけど、食事が提供できたり、そういったことができますので、サービスのところで質を上げて、ゆったりとくつろいでいただくようなことらを想定しております。

ツアーの中で組み込むということになれば、寄港地の後は、バスに乗って、例えば閑谷ですとか、備前が済んだら岡山のほうへ出るとか、そういったことになるかと思っています。

○**青山委員** そういうことも含めて考えていかないといけないのと思いますし、私は安全面のことで随分言わせていただいたけど、安全の担保については、何かいい案は出ましたか。

○**出射交通政策課長** もちろん、安全面についてはしっかり守っていかねばいけないとは思っておりますので、そういった運航ができるように形態のほうはしっかり考えていきたいと思っております。

○**青山委員** 要するに、機関士であるとか、船長であるとか、そういう乗員をしっかりした経験豊富で、そしてそれなりの、これは免許も絡んでいくと思うけど、そういった人を充てなければいけないと思うけど、それなりに人件費もかかると思います。その辺のことをしっかり考えていただきたいと思うけど、いかがでしょうか。

○**出射交通政策課長** そのあたりのことはしっかり考えさせていただきます。

○**青山委員** 市の職員じゃなくて、ぜひそれをお願いしたいと思います。

○**松本委員** ちょっと改めてこういう場を持つという、この北前船について、この意味というのがぴんとこないけど、議論を深めるという意味ですか。疑問についてですか。

○**山本委員長** 前回の説明プラス補足の説明をさせていただきたいということでこの場を設けた。

○**松本委員** 私、これ絶対失敗すると思います。100%失敗します。もう少し赤字を少なくするためにはどうしたらいいということを考えないと。日生に基地を置かずに、例えば鶴海に本拠

地を置いてもいいし、日生の人が別にこれを珍しいとは思いません。本当にそのことをぜひ考えてほしいと思う。絶対100%失敗します、今の計画でいったら。皆さんそう思うでしょう、腹では。どうですか。

○**山本委員長** 以上で審査を終わります。

○**濱山市長公室長** 計画している4施設のうち、3施設が県管理の港湾とか漁協施設であります。今現在、御存じのとおり、県において港湾とか漁港施設の不法係留施設の放置艇の取り締まり強化を図っているということをお聞きしております。そうした中で、そのエリアの海を水域占有者の中から水域の管理者を決定するとお聞きしています。今後その流れとしては、施設管理者の岡山県と決定された水域管理者と、今後水域を使用とする、今回、備前市でいえば、備前市が浮き栈橋をここに設置したいっていうようなものの3者において、順次協議に入るとお聞きしております。そうした中で、使用許可が決定する流れになるのですが、お聞きしているのは、早く協議に入って、調ったものから1エリアを占有の許可をするっていうふうにお聞きしているので、それを受けて県のほうへ事前に協議した結果、予算が確保した上で、再度協議に入ってくださいっていう、この点がちょっと大きく今、気にしているところなので、こちらとしては予算の確保をお願いしたいということで、今日説明に上がりました。

○**山本委員長** ここで皆さんにお諮りいたします。

議案の採決について委員よりあしたの予備日に行いたい旨の要望を受けております。

本委員会付託された2議案の採決は、あした行うことにしてよろしいでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

それでは、採決はあした行うこととなりました。

なお、開会時間は午後3時としますので、御承知おき願います。

開会時間は午後3時です。

以上で本日の予算決算審査委員会を閉会します。

午後 5時43分 閉会